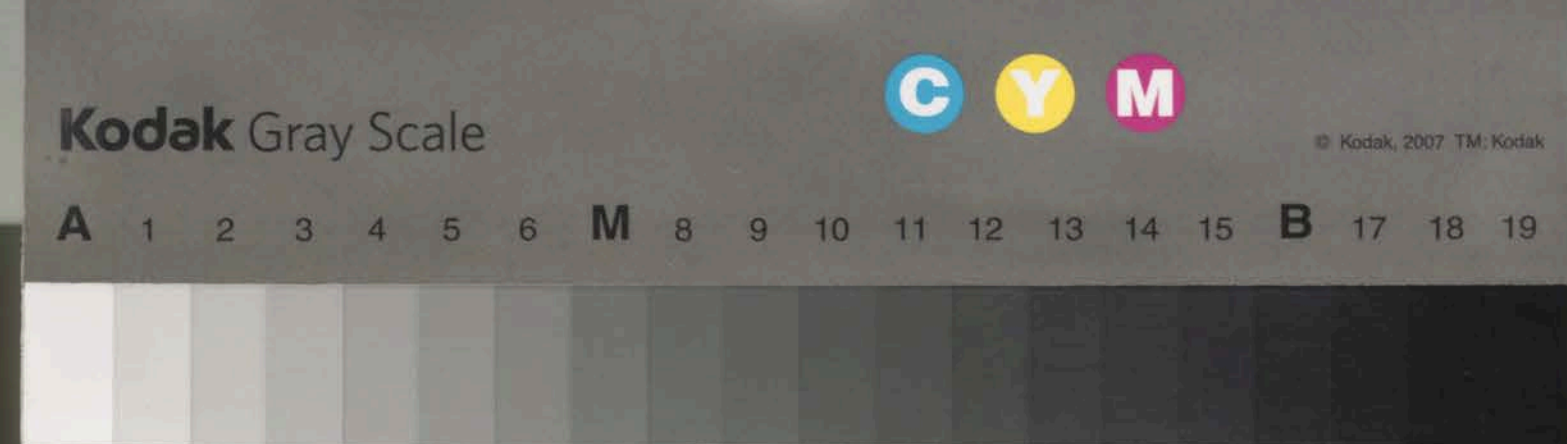


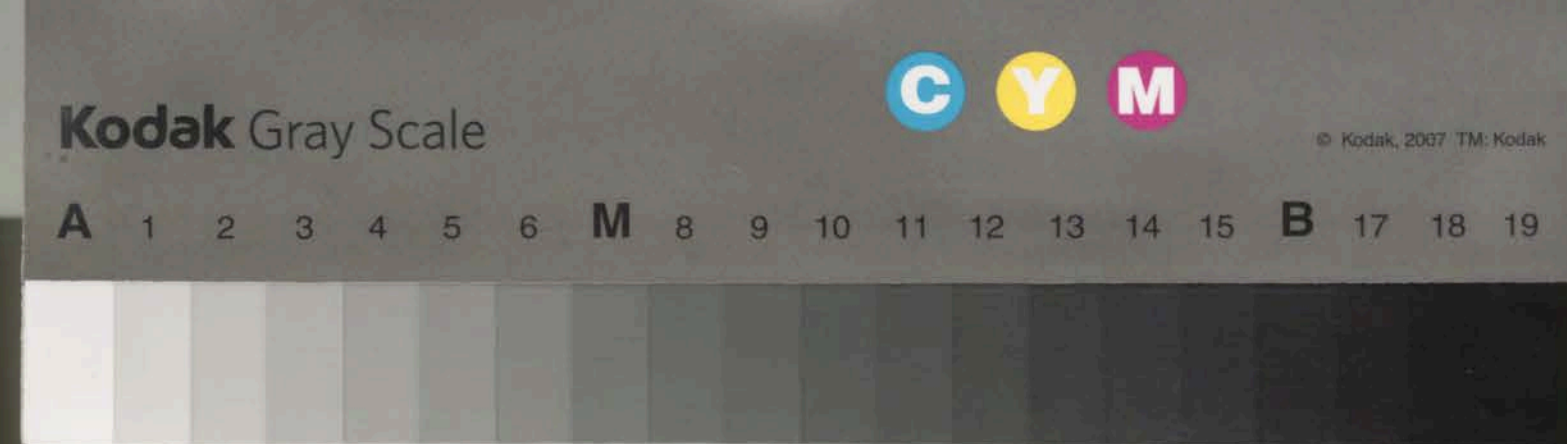
玉黍蜀	金 盃	棒 グイ	俎 板	下駄 緒	川 端	竹 輪	木綿衣(又三)	牛 乳	据風呂	風呂敷	石又礫	帽子	着物	木ノ葉ラ	アス明旦	何々ラシヨウ	食へヨ	イヤダ	燃ヤセ	撲ツゾ	枒ノ實	切りハシ	オ前	オ前達ノト
トウロギ			キリバン	鼻 緒			ノ、コ			フルシキ	イシツコ		キモン	木ノハツパ	アシタ	何々ラスビヤ	タベロヨ		ツンモセ	ブツトバスヅ	枒ネンボウ			
	カナダレヤ	ボンガイ			カアバダ	竹ノワツカ		ギウチ	セイフロ				チヤツボ					ヤアダ				キワパジ	オメテマイ	オメイラ





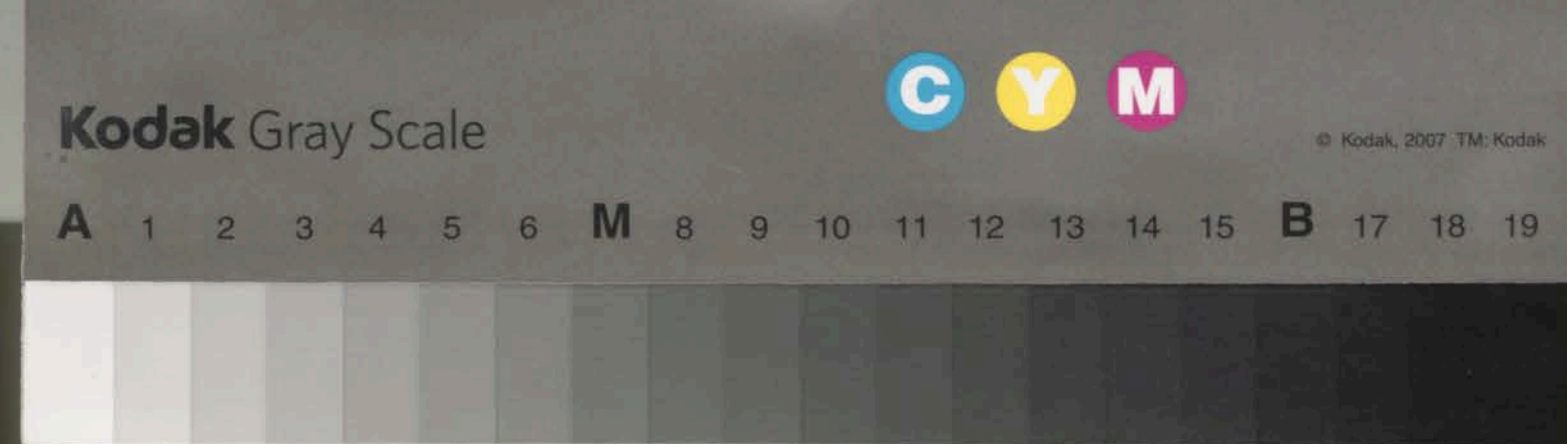
ケレドモ	ハイ	左様デスカ	右様デスネイ	大豆	稗	小使	飯	冷たい	寒イコト	鶏	隅イコト	蠟燭	薑	玄關	田畔又田邊	烟草	音・職	急須	徳利	キリギリス	停車場	山頂	小堀	稻穂	大根
	ハイ アイ	サウカイ	サウダナイ				オマンマ					イロリ					コバタ					山頂	堀子		
ケンドモ				ダイツ	ハイ	シヨニベン		チミテイ	サミウ	ニハツトリ	スミツコ			ゲニカ	タンボ	タボコ	キビシヨ	トワタリ	キリギリス	テンシヤバ				イネツポ	ダイコ
														ア所											





何 ント 言 ワ タ	枝 猾	落 ス	眉 毛	穴	鯉 節	鯉	母	父	私	テ コ リ	家 後	納 十 屋 ヲ	金 蛇	ト カ ゲ	蛇	蛙	ク マ バ チ	燕	蜻 蛉	竈 ガ コ ド	米 ノ ト ギ 水	龍 石 ス リ ウ ス	石 臼	意 外 ナ コ ト	便 所	
			コ メ ギ				オ ワ カ オ ワ カ ヤ シ	ワ ア シ チ ヤ シ	ワ シ ワ ワ チ	テ シ マ リ	セ ド	ア マ ヤ	ト カ ゲ		ヒ ビ			大 マ ン バ チ		ヘ イ ツ ツ イ	マ ヌ ケ			ア テ コ ト モ ネ イ	チ ヨ ウ ツ バ	
ナ シ チ ワ タ	ズ ル イ	オ ワ コ ト ス	メ ド	カ ワ ウ ブ シ	カ ワ ウ								カ マ ゲ ワ チ ヨ	ヘ イ ビ	ケ イ ロ	ク マ ン バ チ	フ バ ク ラ	ド ン バ チ				ス ル ス	イ ス ス			
																										此 語 鳥 飼 料 ト イ フ ヨ リ 出 テ





本村俚諺ハ老ノ如キモノ普通ニ行ハル

日光見ナケリヤ・結構トイフナ

大取レヨリヤ・小取レ

瓜デ・楢ニテ・箕デマケル

大モアルケバ・棒ニモ當ル

漆キ面ニ蜂

雨降ツテ・地堅ル

無理ガ通レバ・道理ヒワコメ

河童モ一度ハ・河流レ

猿モ一度ハ・木ヨリ落ツ

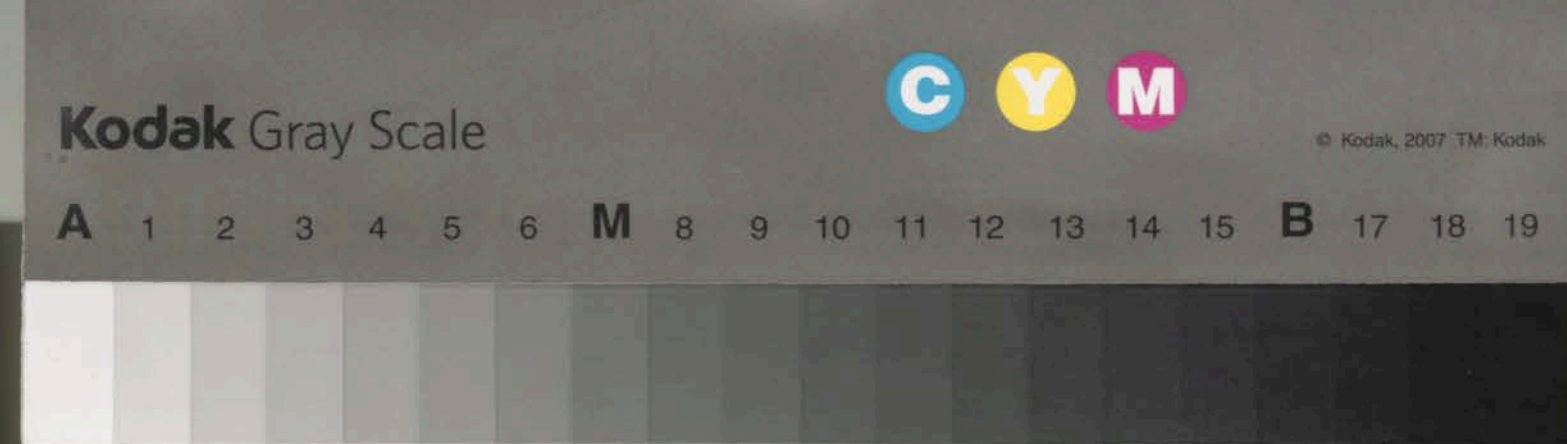
弘法ノ筆ノ誤リ

臭ヘ物ニハ蓋

第四節 俚諺

澤山	シツカリイフヘイ		
大キイ	デカイ、デライ		
疲レタルコト	コハイ		
恐シイ	オウカナイ		
人カ車	：		
菜	ナワパ		
ニンジン食用		ニンジン	
苗代		ナイマ	
葬式(オトモイ)	ジヤボウ		
牽曳ノコト	オコサマ		
戸	トンボ		
オナゴ	アマツコ		





敗ケルハ勝ケル

古峯ヶ原(古峯原神社ニ大天狗ノ居ルトイフ所ヨリ自慢スル者ヲ指シテ古文手原ト称ス)

手モハブロモハブ

馬ノ耳ニ念佛

下手ノ物好キ

遠クノ親類ヨリ近クノ他人

サキノ出様デ鬼ニモ蛇ニモ

持フ持タレズ

韃業・自得

舟人ナイロ一人ハ皆異フト云フニ

莫クテ喰フ忠モスギ

顔ヨリ心・論ヨリ證據

蜂ハ盛ニ巣ヲ構フ一人忌ノ思ヒナルコト

第五節 童話・俗謡

童話

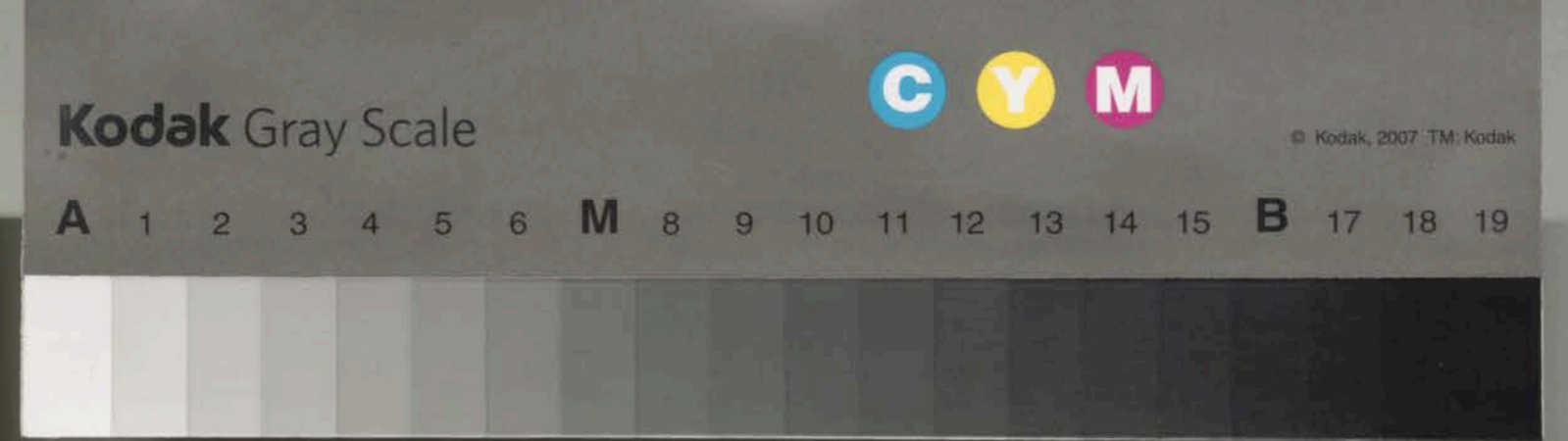
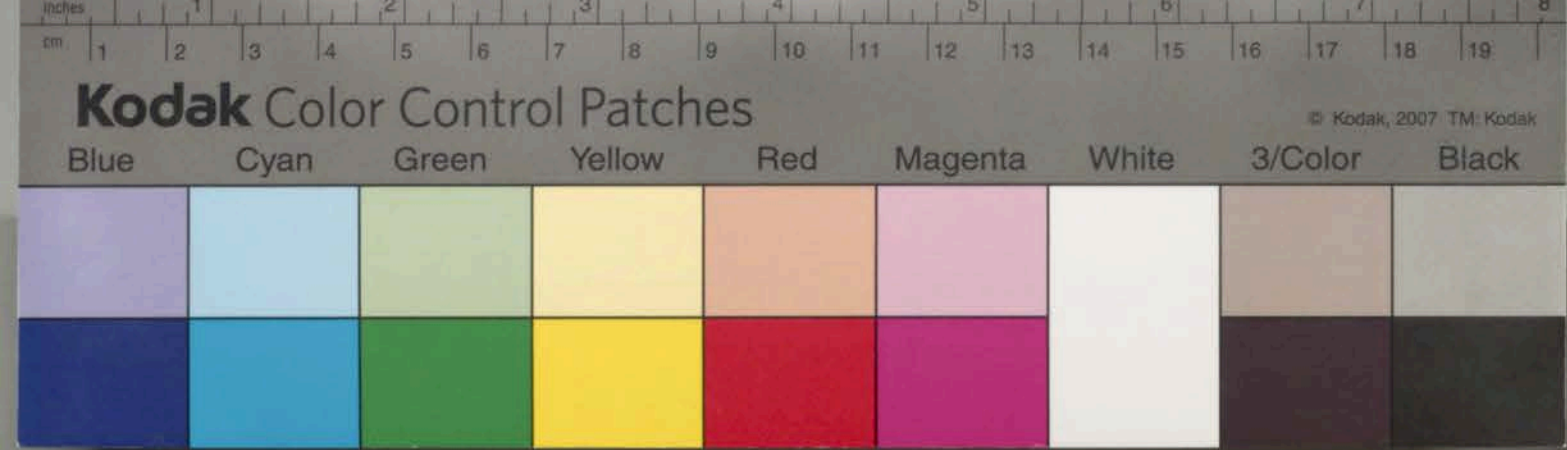
桃太郎 かし、山 継子物語等ノ類

俗謡

大津繪

鐘は上野か浅草か借て、其ノ鐘はあられとも、梅ヶ枝は三百兩  
奥間ノ鐘を千種きおし、梅川忠兵衛は甲子兩遣い果して二百  
兩、磯川貞親は二百兩と一兵衛は綿の財布一に五十兩  
いかしの權太は高野へぬめる詞臺人金二千兩堪忍五兩負けて三  
両、同男七兩二分、誰かきめた、大坂を五返てわたしの次女が自  
おたしは、借れ籠に身をやつし、大坂ノ旅籠屋みちのそと  
屋者三をを三千両あまりの甲子兩使ひ果して二分残る人まより  
大事忠兵衛を科人としたのも皆私ゆへにやむか





手毬唄

おほおほ おほおほ 松立て、ゆき、御塔が傳すは 御子供  
衆旦那もさういへ大踊り大踊りし夜明はせ元はひーや  
ふーやーふーいーつおふーやーこーこーこーこーこーこーこーは回屋か何  
屋の門か馬が干正、荷が重駄つけて、をたしや、回屋さんち  
とうど命でーかんつらた

甚句

歌へ歌へは 歌せめらば、歌けぬまたい 汗がかりー  
【とた】 五合の酒に一升 飲んたう 猶ほさうたるふ  
新ひらば 群もももさきた 月夜や やみやあは

第六章町村是規約條例

本村條例

條例第一号 明治二十二年七月三日許可

第一條 本村ハ制第五十二條但書ニ據リ助役ノ定員ヲ二名トス

第二條 制第五十六條ニヨリ本村ノ助役名ヲ有給吏員トス

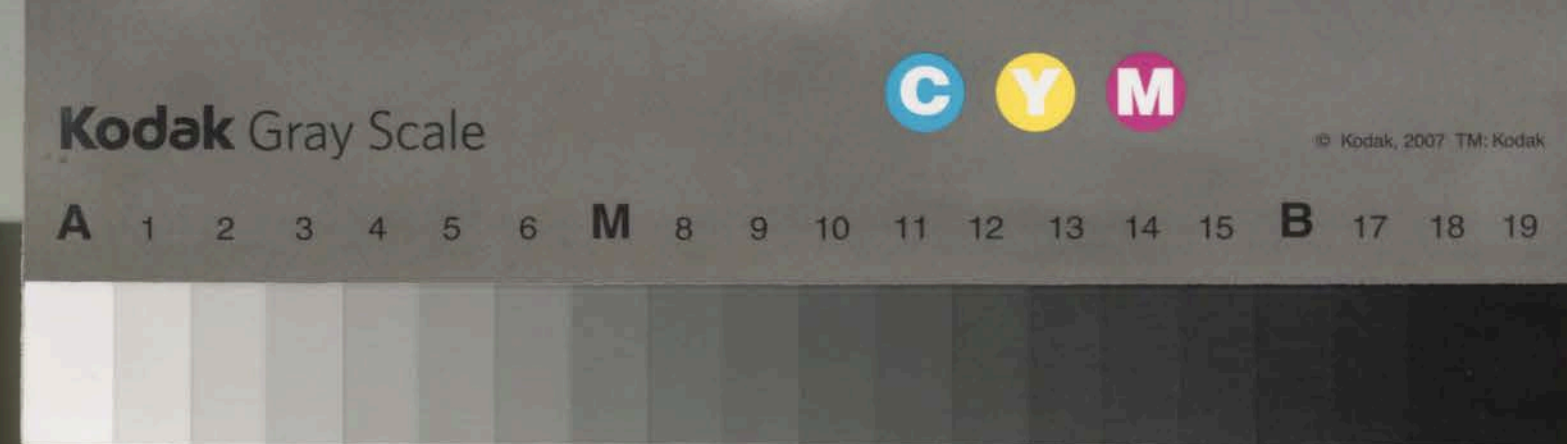
第三條 助役ノ席次ハ名譽助役ヲ以テ上席トス

條例第二号 手数料條例 明治二十二年九月十日許可

第一條 町制第一百二條ニヨリ村税ヲ定期内ニ納メサル時  
其督促ヲナスニ手数料ヲ徴收ス

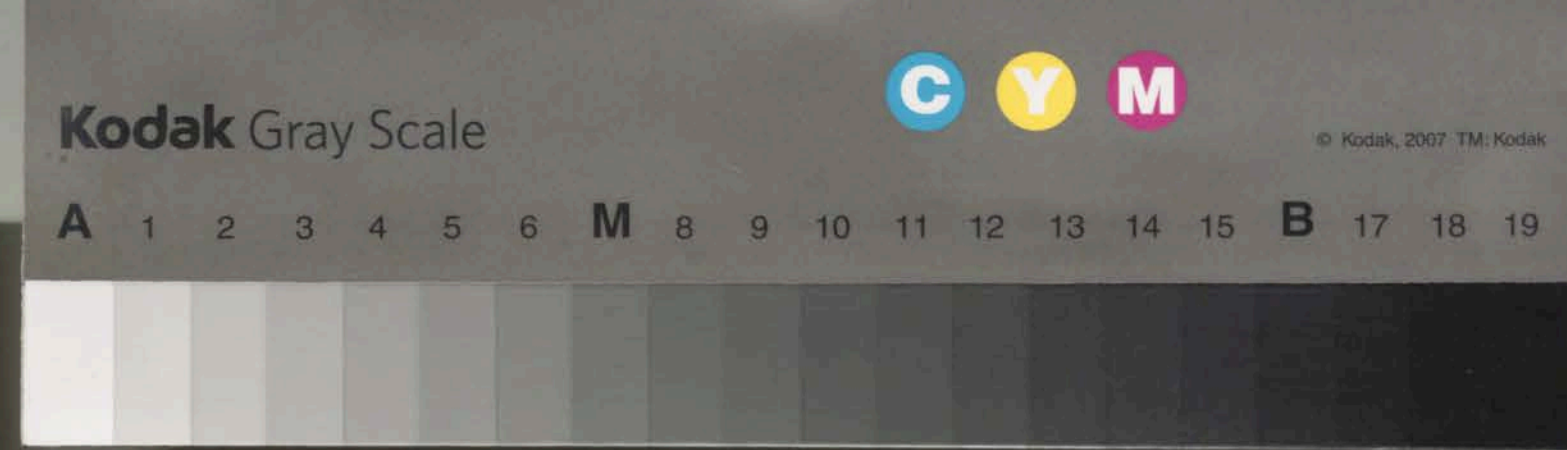
第二條 手数料ハ毎一回金五錢トス  
租入ニ事件ニ付テハ督促二回ニ止ムルモノトス





條例第三号 明治二十二年九月十九日許可  
 退隱料條例改正ニ付略ス  
 條例第四号 町村税段別割條例明治二十四年三月廿許可  
 第一條 段別割之賦課スル種目左ノ如シ  
 水田 鹿段歩ニ付 金參錢以内  
 畑 鹿段歩ニ付 金參錢以内  
 宅地 鹿段歩ニ付 金貳錢以内  
 山林原野 鹿段歩ニ付 金五厘以内  
 第二條 鹿人分所有各種目合計シテ鹿段歩未滿ハ賦課セス  
 第三條 各種合計鹿段歩ニ至ル時ハ各種目ノ内ニテ最モ多  
 キ畝歩ノ地目ニ據リ徵收ス  
 但 同畝歩ニ階ルトキハ低價格ヨリ徵收ス  
 條例第五号 公文公書式 明治二十四年十月十日許可  
 第一條 條例規則ハ本村內各大字揭示場ニ揭示スルヲ以テ  
 公布式トス  
 第二條 條例規則ハ發布ノ年月日ヲ記入シ村長又代理者  
 之ニ署名ス  
 第三條 條例規則ハ揭示ノ當日ヨリ起算シ七日目ヲ以テ施  
 行ノ期限トス  
 第四條 條例規則ハ發布ノ當日ヨリ施行ヲ要シ又ハ特ニ  
 施行日ヲ掲ゲタルモノハ第三條ノ例ニ依ラズ  
 第五條 村內ノ全部又ハ鹿部ニ發スル公告及諭示モ亦前  
 各條ノ例ニ依ル  
 加蘇村退隱料條例 明治四十三年十月廿改正許可  
 第一條 本村有給吏員ハ此ノ條例ノ規定スル所ニ依リ退  
 隱料ヲ受ケル權利ヲ有ス

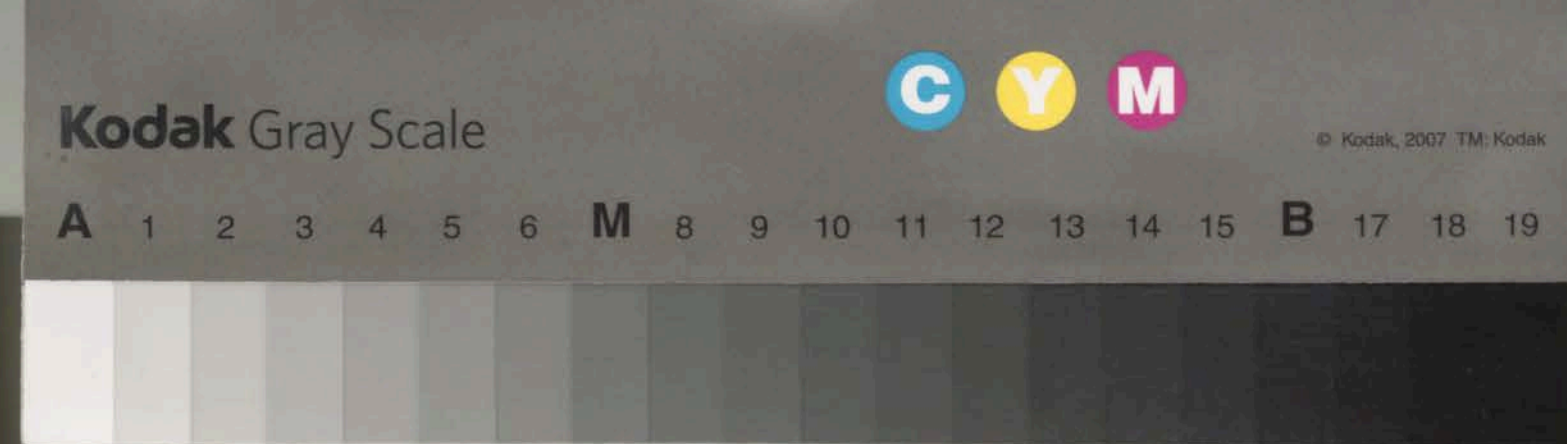




第二條 在職滿十五年以上に至り退職シタル者ニ終身退  
 隠料ヲ支給ス  
 但左ニ掲ケル事項ノ一ニ該ルトキハ此ノ限ニアラス  
 一年齡滿六十歳未滿ニシテ自己ノ便宜ニ依リ退職  
 シタルトキ  
 二懲戒裁判ニヨリ解職セラレタルトキ  
 但自己ノ所為ニアラスシテ職務ヲ執ルニ堪ヘザルガ為  
 解職セラレタル場合ハ此ノ限リニアラス  
 三隨時解職シ得ベキ有給吏員ニシテ不都合ノ所為  
 アリタル為解職セラレタル時  
 四犯罪ニ依リ失職シタル時  
 五職ニ就キタル為公民タルノ權ヲ得可キ職務ニ在ルモノ  
 ニシテ刑法及旧刑法ノ禁錮以上ノ刑ニ處セラルベキ罪ニ  
 因リ公判ニ付セラレタルガ為解職セラレタル時  
 但右ニ免訴若クハ無罪ノ言渡アリタル場合又ハ有罪  
 ノ宣告アルモ禁錮以上ノ刑ニ該ラサル場合ニ於テハ裁  
 判確定ノ日ヲ待テ解職ノ當時ニ遡リ退隠料  
 ヲ支給ス  
 第三條 前條退隠料年額ハ退職當時ノ給料ト在職年  
 數トヨリ左ノ通之ヲ定ム  
 一 在職滿拾五ヶ年以上 給料年額五分一  
 一 在職滿貳拾ヶ年以上 給料年額四分一  
 第四條 在職中公務ノ為ニ疾病又ハ傷疾ヲ受ケ不具廢疾ト  
 ナリ其職ニ堪ヘスシテ退職シタルモノハ在職年數拾五ヶ年  
 未滿ト雖モ終身退職當時ノ給料年額五分一ノ退隠  
 料ヲ支給ス

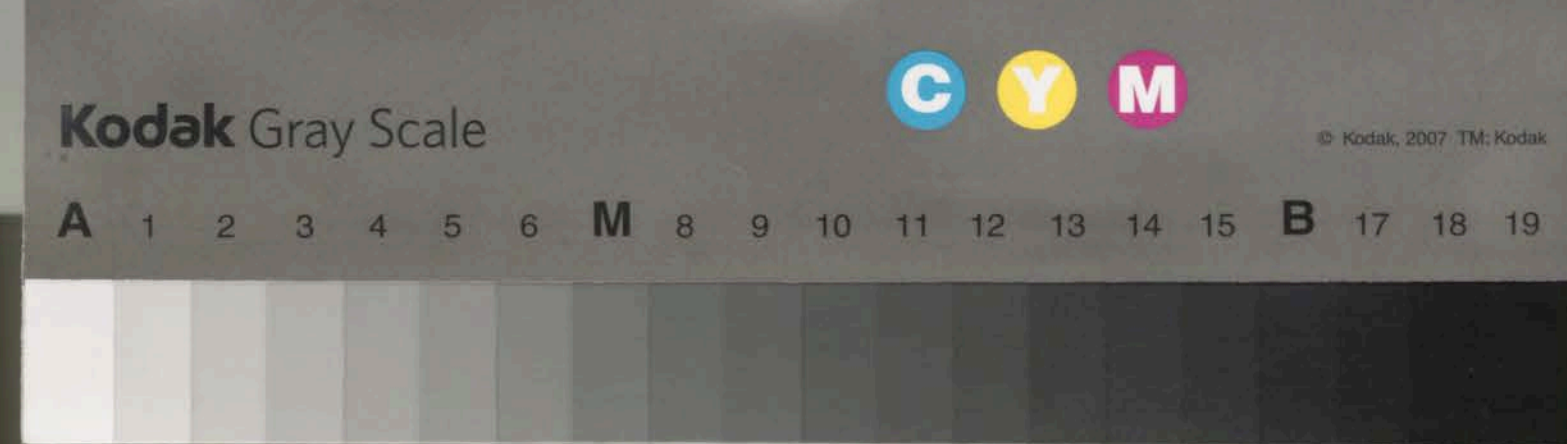






第三條ノ年限間在職シタル者ニシテ前項ノ事由ニ依リ退  
 職シタル時ハ第三條ニ定メタル給與年額ニ其四分ノ一以內  
 ノ増加退隱料ヲ支給ス  
 第五條第三條及第四條ニ規定セル給料年額ハ月給ノモノハ  
 其十二ヶ月分日給ノモノハ其三百六十五日分ヲ以テ算出ス  
 退隱料年額田位未滿ノ端數ハ田位ニ滿タレム  
 第六條有給吏員ノ在職年數ハ認可又ハ任用ノ月ヨリ起算  
 退職ノ月ヲ以テ終ルモノトス  
 前項ノ在職年數ハ一時退職ノ后再ヒ就職シタル者ニテ  
 リテハ前後ノ年數ヲ通算ス  
 但第二條第一号乃至第五号ノ一ニ該當スル場合  
 ニ於テハ其以前ノ在職年數ヲ通算セサルモノトス  
 第七條退隱料ヲ受ケルモノモ左ニ掲ケル事項ノ一ニ該ル時ハ退  
 隱料ヲ受ケル權利ヲ失フモノトス  
 一 國民タルノ年限ヲ失ヒタル時  
 二 六年ノ懲役若クハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレ又ハ旧刑法  
 ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル時  
 三 在職中犯罪ノ行為ニ依リ禁錮以上ノ刑ニ處セラレ其裁  
 判確定シタル時  
 第八條退隱料ノ支給ハ退職ノ翌月ヨリ始マリ死亡ノ月又ハ權利  
 喪失ノ前月ヲ以テ終ルモノトス  
 第九條退隱料ヲ受ケル者ニシテ左ニ掲ケル事項ノ一ニ該ル時ハ其  
 間退隱料ノ支給ヲ停止ス  
 一 官職又ハ府縣郡市町村及公共組合ノ職ニ就キ給料  
 ヲ受ケル間  
 二 刑法及旧刑法ノ禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルトキヨリ





其執行ヲ終リ又ハ其執行ヲ受クルコトナキニ至ルマデノ間  
前項ノ期間停止理由ノ生シタル月ヨリ其終リタル月  
マデトス

第十條 退隱料年額ハ月割ヲ以テ之ヲ計算シ毎年三月九  
月ニ於テ其前月迄ノ分ヲ支給ス  
但退隱料ヲ受クル者ニシテ死亡シ又ハ權利ヲ喪失シ  
ル場合ハ期月ニ拘ラズ之ヲ支給ス

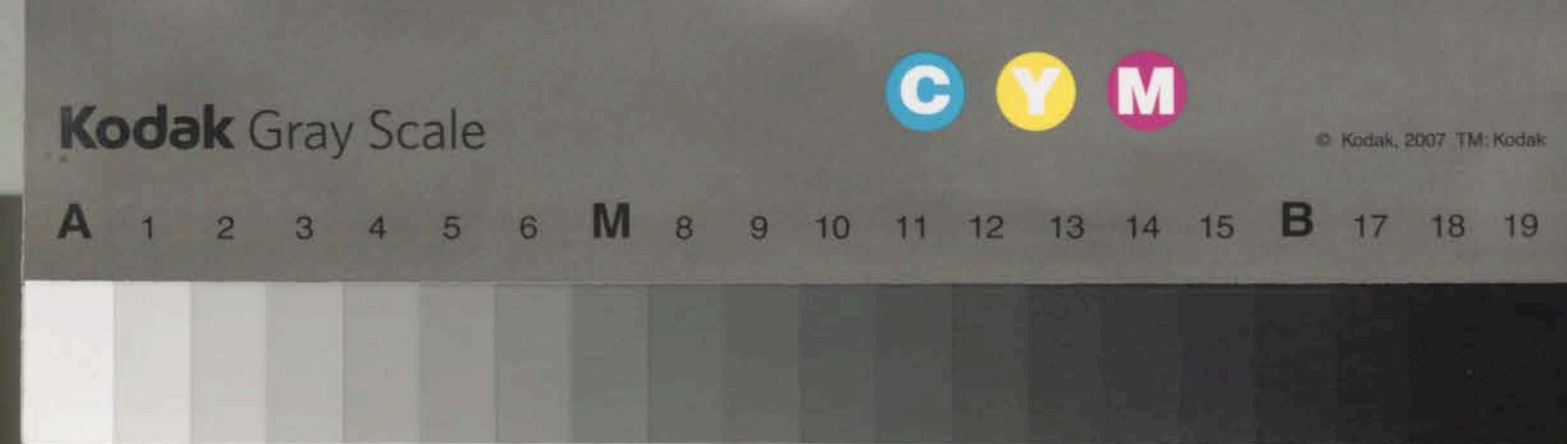
第十一條 退隱料ハ賣買譲與質入ヲ為スコトヲ得ス  
第十二條 旧条例ニ依リ退隱料ヲ受クルモノハ其支給額ニ関スルモ  
ノ外本條例ヲ適用ス

附則  
第十三條 本條例ハ發布ノ翌日ヨリ施行ス  
第十四條 明治三十二年九月十九日許可本村條例第三号退隱料  
條例ハ本條例施行ノ日ヨリ廢止ス

理由  
有給吏員退隱料ニ関スル事項ハ從來規定ニヤリシモ  
條文之間ニ過キ實行ニ際シ疑義ノ点不少ヨリ改正ヲ  
要スル所以ナリ

第七章 經濟  
第一節 金融  
第一目 金利  
本村金融機關ノ一タル加蘇貯蓄銀行及ビ上久我信用  
組合ノ四十四年上半期報ニヨリ貸付狀況ヲ示セバ左如シ  
加蘇貯蓄銀行  
現貸付高 抵当質物種類  
三九一八〇〇〇 土地





**組合名稱** 事務所 設立年月日 組合出資拂込済人員及積立金額 沿革及事業ノ大要

無限責任 加蘇村大字 明治四十七年三月 一〇四 五〇一六〇〇 明治四十七年三月設立シ事業トシテ肥料ノ購買資金ノ貸付貯金等

**第二節 産業組合制度**

**第三節 運輸交通**

**第一目 道路 鉄道 水道**

本村三國道縣道及ビ鉄道等ノ通過スルモノナリ全村ヲ殆んど一貫スル一等里道上久我ヨリ下久我加園野尻ヲ經テ北押原奈佐須原ニ通ズルモノニシテ長サ三里半一ハ中途加園ヨリ日向ヲ經テ鹿沼ニ通ズル一等里道アリ何レモ道幅二間ニシテ並木等ナシ以上ノ道路ヨリテ本村産出ノ薪炭木材石灰等ヲ運搬セラル

**第二目 郵便電信電話**

郵便物配達局ハ下野加園郵便局ニシテ局所在地ハ加園字宿ニアリ郵便箱所在地及ビ員數左ノ如シ

三五六五〇〇 株式

一五〇〇〇 貯蓄債券

一五〇〇〇 物品

二六、七二九、〇〇〇 信用

上久我信用組合

九七、七〇〇、〇〇〇 信用

以上信用抵当共五十月以下ハ大略金利一割五分一割八分位五十月以上ハ通例一割五分

**第二目 貯金**

加蘇貯蓄銀行ノ貯金

四十四年上半期報告

金額	人員	平均
三五一九七九五	一二八	二七、四八八

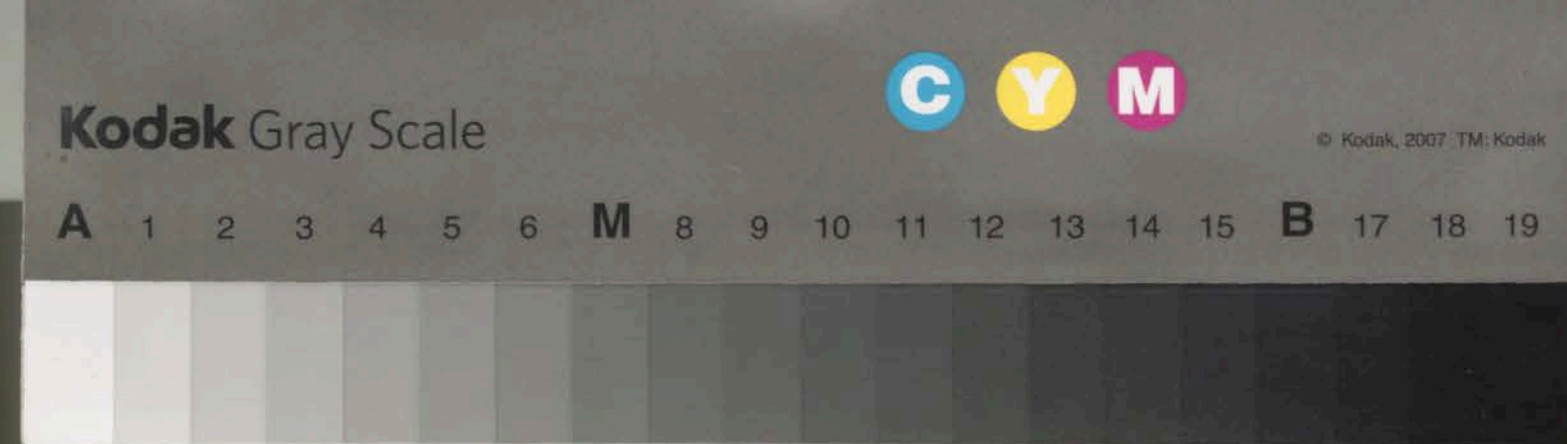
加園郵便局ノ貯金

四十四年三月三十一日調

金額	人員	平均
三九四六四九	四三一	九、一五六

貯金ハ年々増加傾向ヲ示シ郵便貯金ハ前年度より金額七百七十八圓九十錢三重人員十七人増加





繭	麻種	苳種	芋	大根	馬鈴薯	甘藷	蕎麥	稗	小麦	大麦	糯米	大麻
五八五〇	二〇〇〇	四八三七	五六〇〇	一二九三	三六〇〇	一〇八〇	三六五〇	八六四〇	三二五〇	二〇五三七	三三〇〇	三三七五〇

重要農産物種類 産額

米 三〇、八二五<sub>円</sub>

其の重要農産物、種類産額及副業

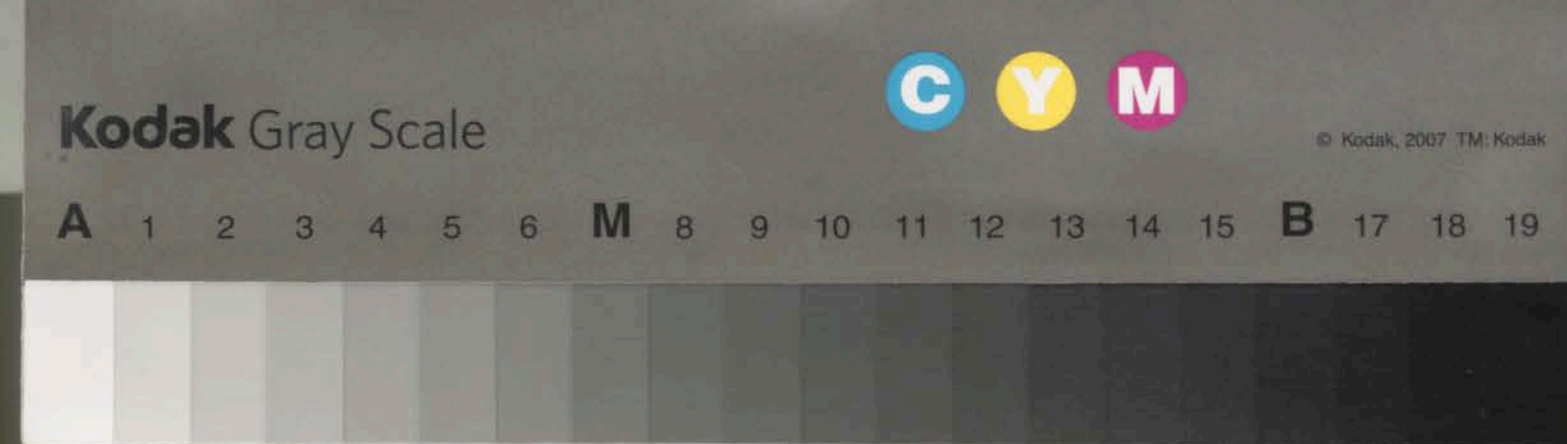
第四節 生産業

第一目 農業

本村大字野尻三十四番地  
 “ 大字加園字生子淵百三十五番地  
 “ 大字加園字福澤九十二番地  
 “ 大字下久我字関場三十四番地、二  
 “ 大字上久我字寺畑三十八番地  
 “ 大字上久我字石冢

員數五個ニシテ配達回数八字上河原宿後澤下掘、五字ハ  
 二回ニシテ他局区内ハ一回ナリ、電線、通過ナシ



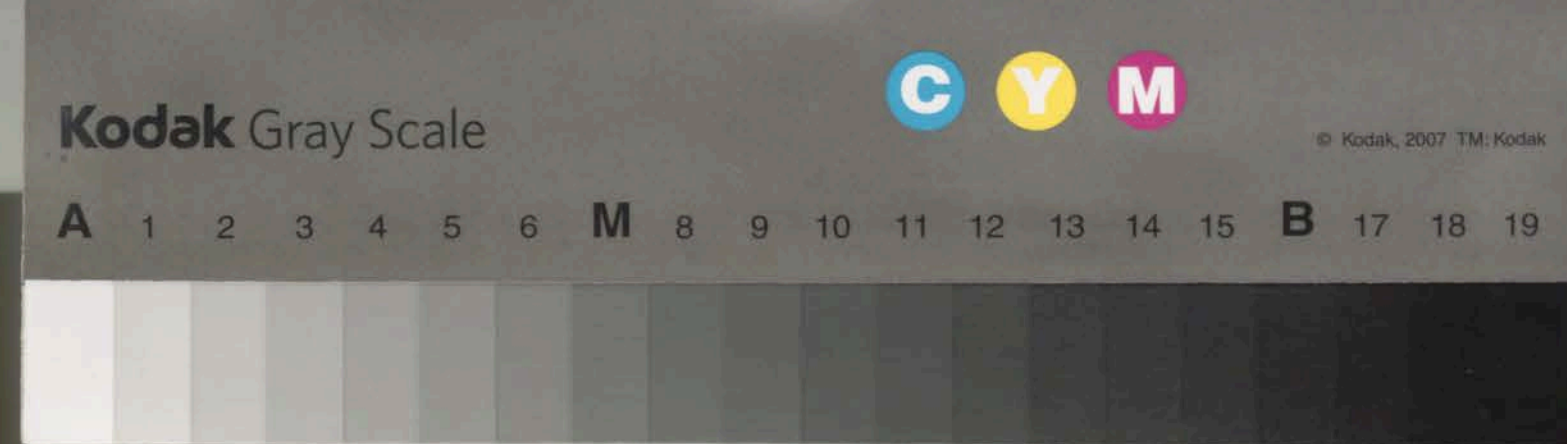


會長 設立當時ハ大貫慶次郎氏會長タリシガ後  
 石川和一郎氏ヲ經テ明治四十四年四月曾池田米三郎氏會長  
 トナリ以テ今日ニ至ル  
 副會長 左ノ諸氏順次副會長タリ  
 津吹松吉 檀瀧彦三郎 荻原惠一郎 小林鉄三郎  
 幹事 大貫宇源太 石川與十郎  
 石川與十郎氏任期中事故辞任ノタメ津吹松吉氏補欠ト  
 シテ幹事トナル  
 兩氏任期满了ニツキ同四十四年四月一日ヨリ伊佐野誠作大  
 島源重ノ兩氏幹事トナル  
 職員  
 本會技術員トシテ同三十九年一月十六日大橋寅次郎氏  
 就職シ四十三年七月一日マデ在職ス

加蘇村農會  
 本村ニハ元加蘇農林會ナルモノアリシガ明治三十八年十月二十七日  
 勅令第二百二十五号農會令ニヨリ同三十九年一月十六日日本農  
 會ヲ設立シ事務所ヲ本村役場ニ置ク  
 役員  
 其ニ農會及耕地整理狀況  
 行ハル  
 副業ハ養蚕ヲ最トシ機業養鶏木炭ノ製造薪炭木材ノ  
 運搬等ガ重ナルモノニシテ他ニ草鞋作り壘系燃り等モ多少  
 計  

材木	七〇〇〇
炭	五〇〇〇
葉煙草	一・一五〇
計	一四一・三六二





本會書記トシテハ渡辺鐘一郎氏就職シ其後川島和三  
即氏書記トナリ今日ニ至ル

米穀検査所

明治四十三年五月二十三日栃木縣令第七十一号ニヨリ米穀検査員派出所ヲ本村役場内ニ置キ産米検査員トシテ大橋寅次郎氏同四十三年七月四日就職ス

地主會

産米ノ發達及風紀ノ改善ヲ圖ラン目的ノモトニ本村地主會ヲ組織シ明治四十四年二月九日認可セラレ  
本會ノ役員左ノ如シ

會長 金子爲作

副會長 大貫茂重郎

理事 竹沢保平

石川與十郎

合谷木勘太

大貫壽三郎

伊佐野利市

小曾根頭一郎

大島金四郎

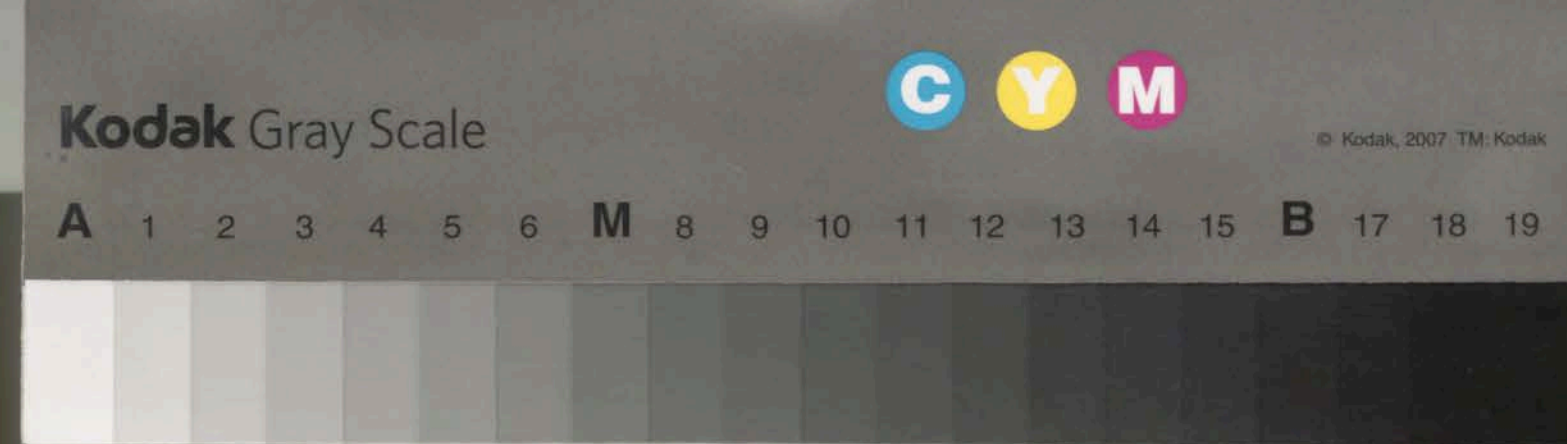
樺淵彦三郎

加蘇村耕地整理

当耕地整理ハ本村大字野尻ノ南端ニ位スル左ノ地目面積ヲ整理シ明治四十一年二月十九日着手シ今マ九分以上整理ヲ終了シ殘業ヲ數名ノ夫ニテ工事中ナリ以上整理ヲナセシ主因トモ目スベキモノハ三十九年七月十七日大芦川大洪水ノタメ河水氾濫シ田畑一面ニ河流トナリ其水勢猛烈ニシテ居宅其他建物等危急ニ陥リシガ幸ヒニモ浸水セシノミニテ其害ヲ免レシガ減水後以上ノ田畑等ハ砂磧ト変ジ境界畦畔等更ニナク何人ノ所有ニ屬スベキヤ判明シ難ク尚ホ具ツ復旧工事ノ容易ナラザルニ立至レリ茲ニ於テカ是等ノ方法考案中曩ニ整理ノ有利ナルコトヲ悟リ居リシモノ土地所有者

ニ其ノ可レニ賛同シタレバ工費九發起人トナリ許可

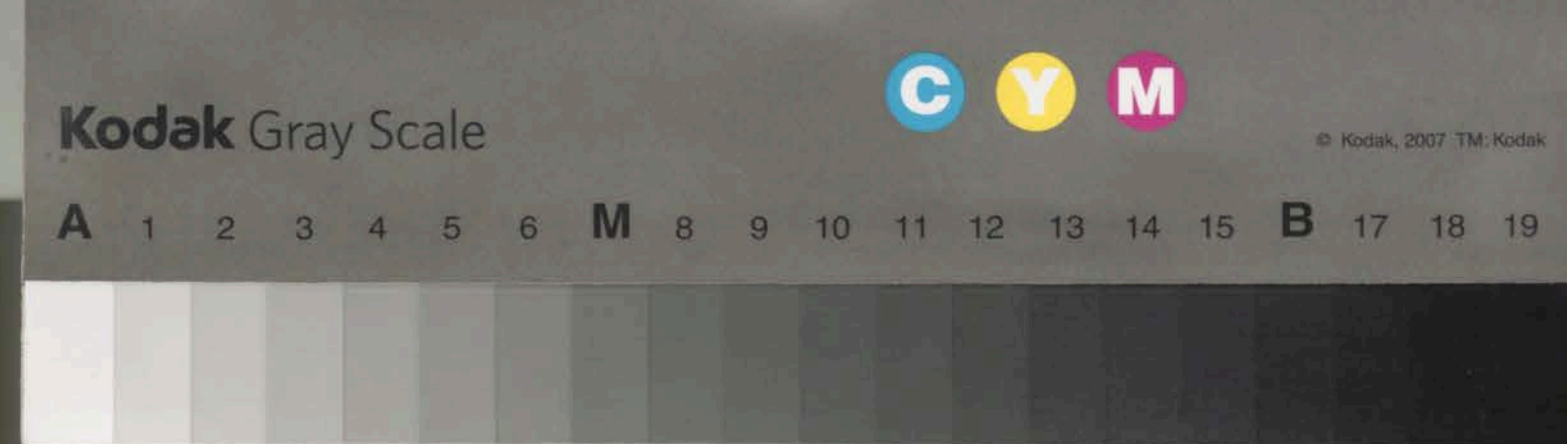




整理前ノ地目面積  
 地目反別  
 田 五五〇〇〇  
 畑 一二〇〇〇  
 宅地 五七〇〇  
 原野 二四〇〇  
 山林 五六〇〇〇  
 耕地 一一一  
 計 一三六二一一  
 道路 二〇二一  
 耕作道 三七〇〇  
 溝渠 三三二二  
 計 九一〇一  
 合計 一四〇、三一四  
 以上土地所有者十四人  
 整理工事費(但し道路水路堤防修築員共)  
 大略平均反当り三十五円  
 第二目工業  
 本村ノ工業ハ石灰製造ト製材業トニシテ石灰製造ハ大  
 字加園字宿ニテ同所ヨリ産スル石灰石ヲ原料トシテ行ハル  
 二〇〇三ノ年  
 焼キシガ現今ハ

ヲ得工事ニ着手スルコトハナリ又  
 發起人 石川和一郎  
 石川岩四郎  
 石川謙次  
 石川熊次





第六節 郷土公経済

第一目 般別地租戸口等

種目	種別	反別	地租	一戸平均額	一人平均額	地租
畑田	畑	一〇、一四二九	六二、一四五	八二、二〇〇	二五七〇、四〇〇	一、一三一
	田	一四、二八〇九	二三四、七七五	二五七〇、四〇〇	二五七〇、四〇〇	一、一三一
合計		四三、四一〇	六三、二七	八、一七	八、一七	一、一三一
其他		三六四、一六七	一、三二、九、五	四、八九、〇、二	二、〇、二八	六五、一七
合計		三六七、六三三	六四、五、二一	八、四三、八	七四、〇、四	一、一三一

第二目 本村ヨリ他所村ニ所有スル般別地租小作料

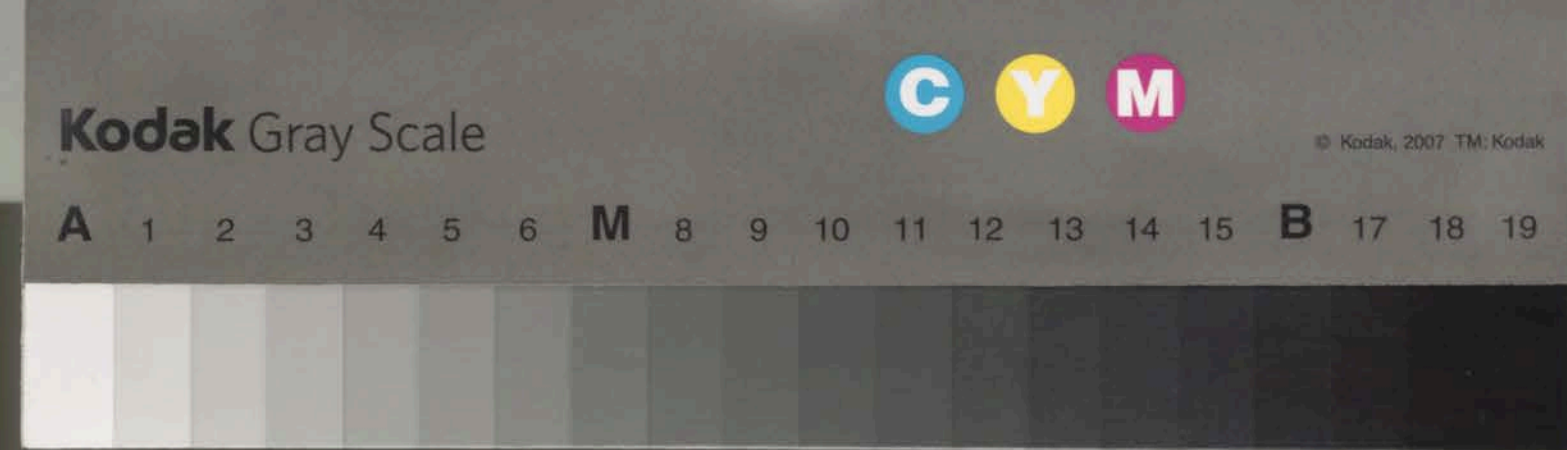
第五節 商業

物品販賣業

種類	従業者	賣上金高
一等	二四	一〇五、〇〇〇、〇〇〇
二等	五	三、〇〇〇、〇〇〇
三等	五	二、五〇〇、〇〇〇
四等	八	三、二〇〇、〇〇〇
五等	一二	二、四〇〇、〇〇〇







種類	種別	反別	地租	反別	地租	反別	地租
其他	畑	二五七、五二九	一六〇、三〇〇	三九、二四、六〇	二、五四九	五、一〇、〇五	〇、三四一
田	一六四、四六、〇九	二五三、七五〇	二五、一二、五八	三、四九九三	三、一二、二一	〇、五三五	
計	畑	一五、八〇、〇六	一九九九、二〇〇				
計	田	七、三六、一二	一三二、四四、八〇				
計	田	八、四三、二四	六、七四、四〇				
計	田	一、九八、一六	三〇、三九、〇〇				
計	田	一、七三、〇三、五	三一、九二、五				
計	田	一、九八、一六	三〇、三九、〇〇				
計	田	六、三三、五二〇	六、四一、〇〇				
計	田	六、三三、五二〇	三、七二、一九〇				
計	田	九、五七、二〇	一、七四、〇八五				
計	田	九、五七、二〇	一、七二、二四、六〇				
計	田	八、五、一四、四、四五	三、五三、五〇、〇				
計	田	三、六七、九、一九					

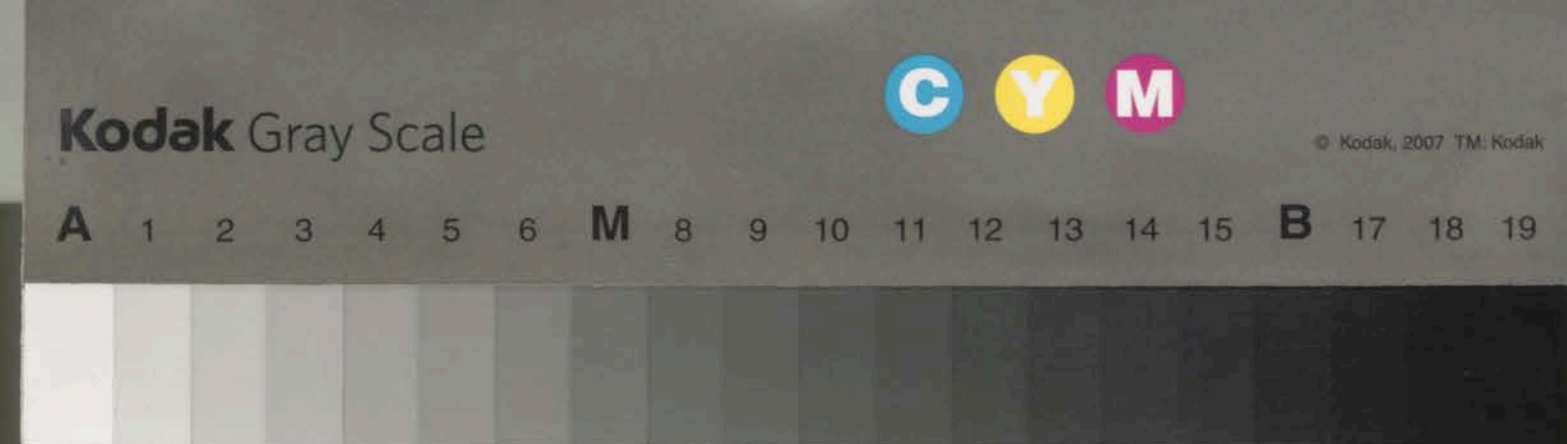
第六目 本村民所有權アル反別地租及戸口当

第五目 他所村人本村地所ヲ不作スル反別小作料

第四目 他所村人地所ヲ本村人ガ不作スル反別小作料

種類	種別	反別	地租	小作料
合計	畑	一、九八、一六	三〇、三九、〇〇	一、七三、〇三、五
小作	畑	六、三三、五二〇	六、四一、〇〇	三、七二、一九〇
所有	畑	九、五七、二〇	一、七四、〇八五	一、七二、二四、六〇
計	畑	八、五、一四、四、四五	三、五三、五〇、〇	三、六七、九、一九

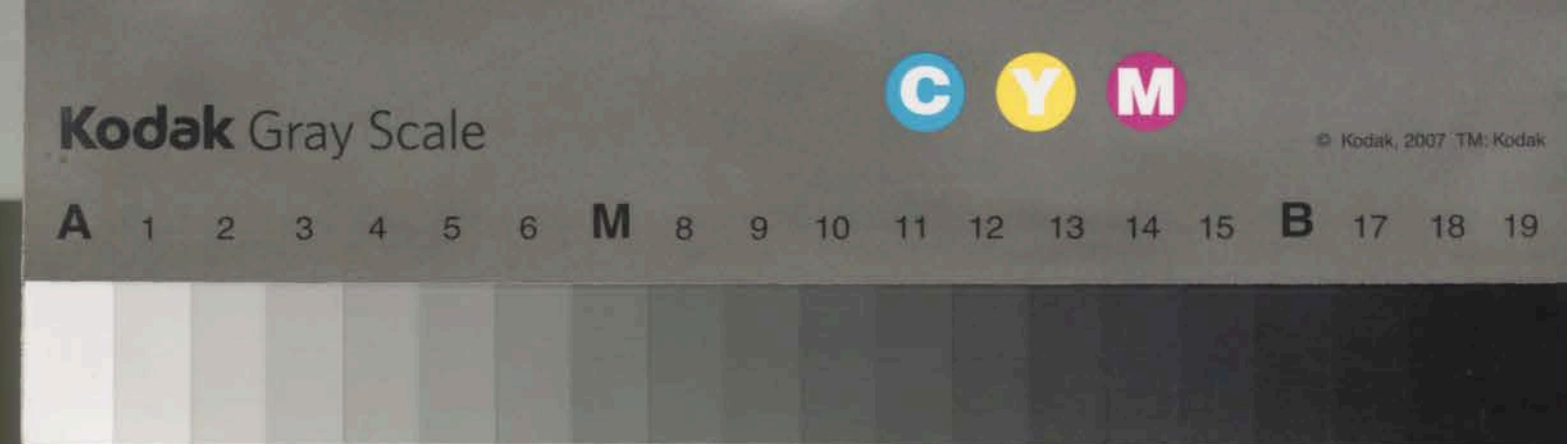




種類	反別	地租	反別	地租	反別	地租
其他	二五七、五一三九	一六〇、三三〇	三九、二四、六〇	二、五四九	五、一〇、〇五	〇、三四一
畑	一六四、四六、九	二五三、七五〇	二五、一二、五八	三、四九、九三	三、四、二一	〇、五三五
田	一六四、四六、九	二五三、七五〇	二五、一二、五八	三、四九、九三	三、四、二一	〇、五三五
計	一五、八〇、〇六	八、四三、二四	一九九、二〇〇	六、七四、四〇〇		
第六目 本村民所有權アル反別地租及戸口当						
種類	反別	地租	反別	地租	反別	地租
畑	七、三六、一二	一三二、四四、八〇〇				
田	八、四三、二四	六、七四、四〇〇				
計	一五、八〇、〇六	一九九、二〇〇				
第五目 他所村々本村地所ヲ不作スル反別小作料						
種類	反別	地租	反別	地租	反別	地租
小作	〇	〇	〇	〇	〇	〇
第四目 他所村々地所ヲ本村人ガ不作スル反別小作料						
種類	反別	地租	反別	地租	反別	地租
小作	〇	〇	〇	〇	〇	〇

種類	反別	地租	反別	地租	反別	地租
合計	一九〇、九五、〇一	二七、三、五九〇	二五、六、八、六〇〇			
小作	一七三、〇三、〇五	三一、九、二、五	一七三、〇三、〇五			
所有	一、九八、一、六	三〇、三、九〇	一、九八、一、六			
小作	六、三五、二〇	六、三、五、二〇	六、三五、二〇			
所有	六、三五、二〇	三、七、二、九〇	六、三五、二〇			
小作	九、五、七、二〇	八、四、三、八	九、五、七、二〇			
所有	九、五、七、二〇	一、七、四、〇、八五	九、五、七、二〇			
計	八、五、一、四、四、四、五	三、五、三、五、〇〇	八、五、一、四、四、四、五			
第三目 他所村ヨリ本村人ガ所有スル反別地租小作料						
種類 <td>反別 <td>地租 <td>反別 <td>地租 <td>反別 <td>地租</td> </td></td></td></td></td>	反別 <td>地租 <td>反別 <td>地租 <td>反別 <td>地租</td> </td></td></td></td>	地租 <td>反別 <td>地租 <td>反別 <td>地租</td> </td></td></td>	反別 <td>地租 <td>反別 <td>地租</td> </td></td>	地租 <td>反別 <td>地租</td> </td>	反別 <td>地租</td>	地租
畑	九、五、七、二〇	一、七、四、〇、八五	九、五、七、二〇			
田	九、五、七、二〇	一、七、四、〇、八五	九、五、七、二〇			
計	一、九、一、四、四、四、五	三、五、三、五、〇〇	一、九、一、四、四、四、五			





第八目自作農小作農戸數表

種別	自作農		小作農		合計
	戸數	面積	戸數	面積	
野尻	八	一八	一八	八	三四
加園	二七	八三	八三	八八	一九八
下久我	一二	三二	三二	三三	七七
上久我	三五	一五	一五	九三	一四三
合計	八二	一四八	一四八	二二二	四五二

第九目生産額及其一戸一人当り

種別	金額	一戸当り平均額	一人当り平均額
米	三〇、八二五	四七、六四六	六、三八二

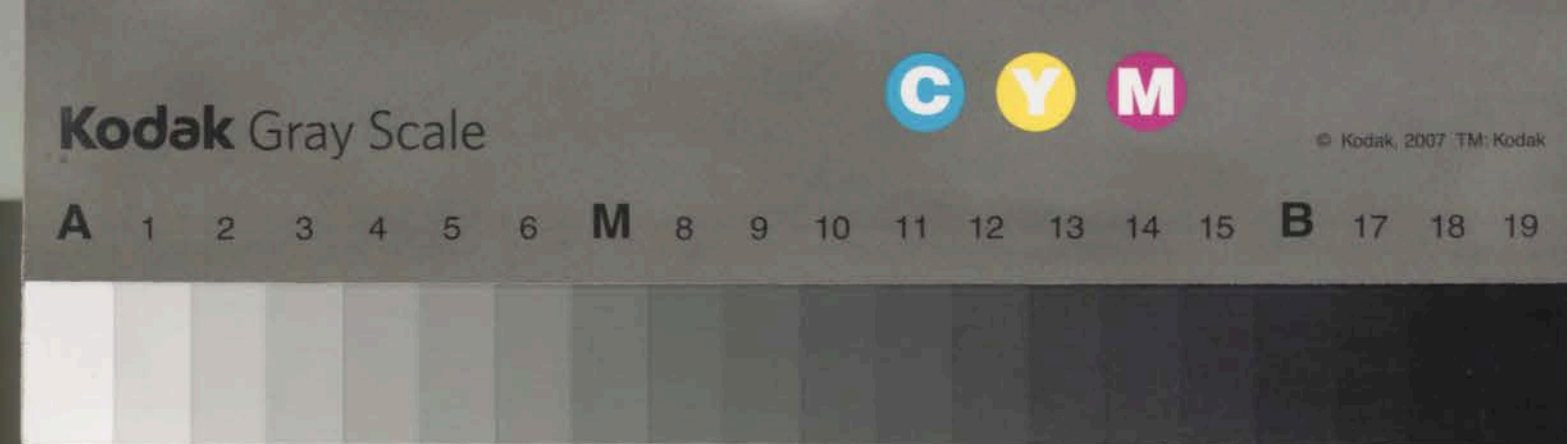
及別地租小作料差引過不足表

種別	其二	
	反別	地租
本村が他村に所有する土地	八、九一四	三五三、五〇〇
他村人が本村に所有する土地	一九〇、九五〇	二七三、五九〇
差引本村人所有する分	一〇、〇三六	七九、九一〇
差引	一、五八〇、〇〇六	一九九九、二〇〇

小作料

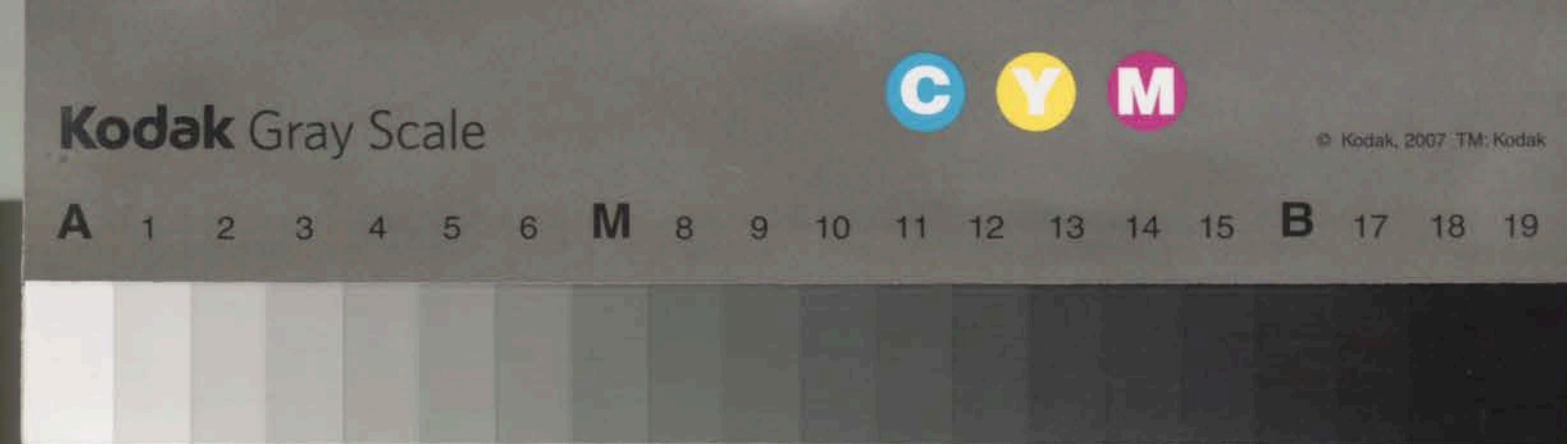
種別	金額
本村が他村に所有する土地	〇
他村人が本村に所有する土地	一九、九八〇、〇〇六
差引他村人所有する分	一九九九、二〇〇
差引	一、五八〇、〇〇六





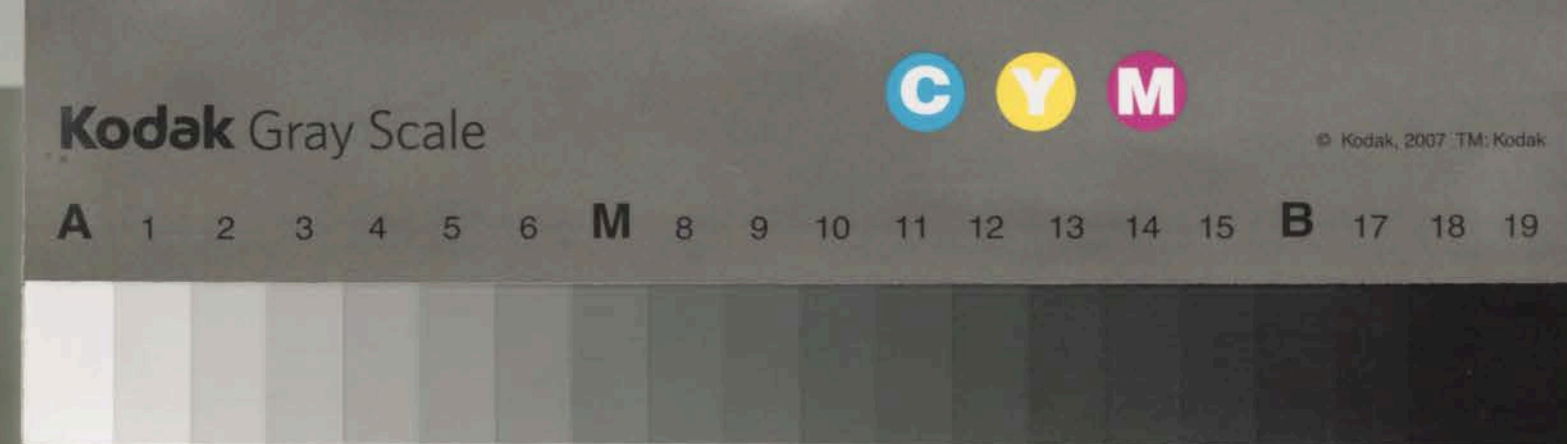
芋	茄子	葱	胡摩	苳種	麻種	大麻	胡蘿蔔	人參	製茶	繭糸		
600	665	55	126	33	200	250	90	60	60	60		
五六〇〇	六六五	一五五	一八五	四八三七	二〇〇〇	三三七五〇	六〇	二〇〇	三〇〇	五八五〇		
八六五五	一〇二八	〇八五	一三二	七四七三	三〇九一	五一六四	〇九三	三〇九	九〇四二	一五五		
一一六〇	一三八	〇一一	〇一八	一〇〇二	四一四	六九九二	〇一一	〇四一	〇六二	〇二一		
陸	大麦	小麦	裸麦	粟	稗	黍	大豆	小豆	蕎麦	甘藷	馬鈴薯	大根
10500	4000	4000	4000	4000	4000	4000	4000	4000	4000	4000	4000	4000
一九一一〇	三二五〇	一四二七	八二七〇	八六四〇	一六三	一九二	七〇〇	三六五〇	一〇八〇	三六〇〇	一二九三	
二九五三六	五〇二三	二二〇六	一四八一〇八	一三五五四	三〇九七	八三二九七	一〇八二	五六三一	一六六九	五五六四	一九九八	
三九五九	八八〇	二九六	〇一五	一七九〇	〇一三	〇四〇	一四五	七五六	二二二	七四六	二六八	





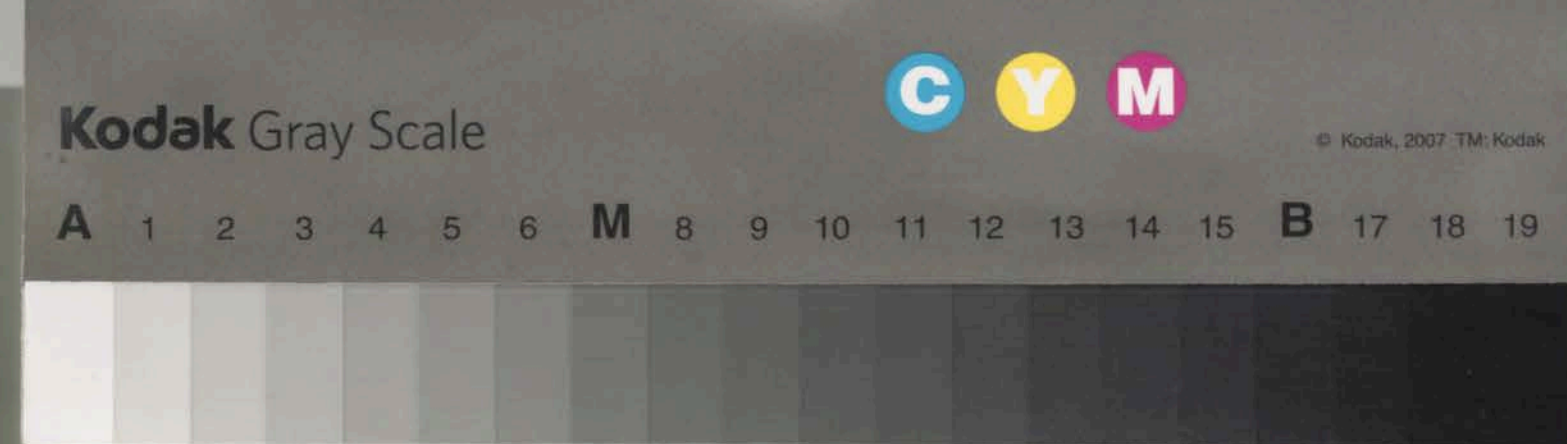
種目	種別	金額	一戸平均額	一人平均額
第十百消費額及其一戸一人当り				
稗		八六四〇	一三三五四	一七九〇
粟		七〇	一〇八	〇一五
裸麦		一四二七	二二〇六	二九六
小麦		四七五〇	七三四二	九八四
大麦		一〇五〇〇	一六二二八	二一七五
陸米		六〇〇	九二七	一二四
糯米		四二〇〇	六四九四	八七〇
米		三〇六〇〇	四七二九五	六三三九
合計		一七二七八二	二六七〇四五	三五九九四
石灰		一九七〇〇	三〇四四八	四〇八一
菓子		一〇〇〇	一五四六	二〇七
鶏卵		四八〇	七四二	〇九九
鳥類		一八〇	二八四	〇三八
葉煙草		一一五〇	一七七七	二三八
草鞋		二七〇	四一七	〇五六
織物		三〇〇	四六四	〇六二
炭		五七六〇	八九〇三	一一九一
薪		一五〇	二三二	〇三一
竹		一五〇	二三二	〇三一
材木		七〇〇〇	一〇八一九	一四五〇
焼酎		六〇〇	九二七	一二四
清酒		四五〇〇	六九五五	九三三
麻				〇三一





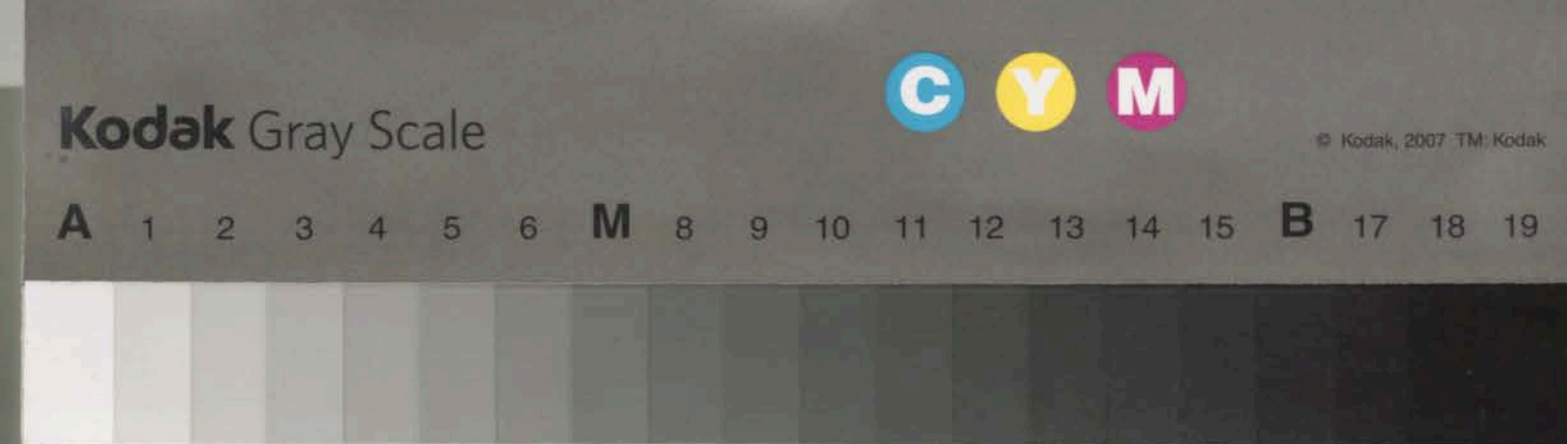
草鞋	織物	炭	薪	竹	材木	燒酎	清酒	麻糸	眞綿	屑糸	製茶	胡蘿蔔	大麻	麻種	胡麻	葱	茄子	芋	大根	馬鈴薯	甘藷	蕎麥	小豆	大豆
三四五	七〇〇〇	七三二	一五〇	一五〇	九〇〇	六〇〇	八三三〇	七五	五〇	一〇〇	六〇〇	九〇	二五〇	二〇〇〇	一二六	六六五	六〇〇〇	二三四〇	三六〇	三二〇〇	三〇〇〇	八四〇	八四〇	八四〇
五三三	一〇八一九	一一三一	二三二	二三二	一三九一	九二七	一二八七五	一一六	七七	二五五	九二七	一三九	二六三六	三〇九一	一九五	八〇八五	一〇二八	九二七四	三六一七	五五六	四九四六	四六三七	一二九八	一二九八
〇七一	一四五〇	一五一	〇三一	〇三一	一八六	一二四	一七二六	〇一六	〇一〇	〇二一	一二四	〇一九	〇五二	四一四	〇二六	〇一	一三八	一二四三	四八四	〇七五	六六三	六二二	一七四	一七四





鹽	製造煙草	人造肥料	油粕	糖	一粕	石炭	農具	麻裏	下駄	建具	漆器	陶磁器	金物	紙類	砂糖	石油	水油	醬油	木綿糸	綿	干瓢	石灰	菓子
九〇〇	七二〇〇	七五〇	六八四〇	二七〇	一一二〇	七〇〇〇	五〇〇	六〇〇	一〇〇〇	八〇	五〇	一二〇	五〇〇	三六〇	二二五〇	一二〇〇	六〇	二九〇〇	一〇〇	六五	二〇	一六五六	三〇〇〇
一三九一	一一二八	一一五九	一〇五七二	四一七	一七三一	一〇八一九	〇七	九二七	一五四六	一一二四	〇七一	一八六	七五一	五五六	三四七八	一八六四	〇九三	四六三七	一五五	一〇〇	〇三一	二五六〇	四六三七
一八六	一四九二	一五五	一四一七	〇五六	二一一	一四五〇	〇一〇	一二四	二〇七	〇一七	〇一〇	〇二五	一〇四	〇七五	四六六	二四九	〇一二	六〇一	〇二一	〇一三	〇〇四	三四三	六二二



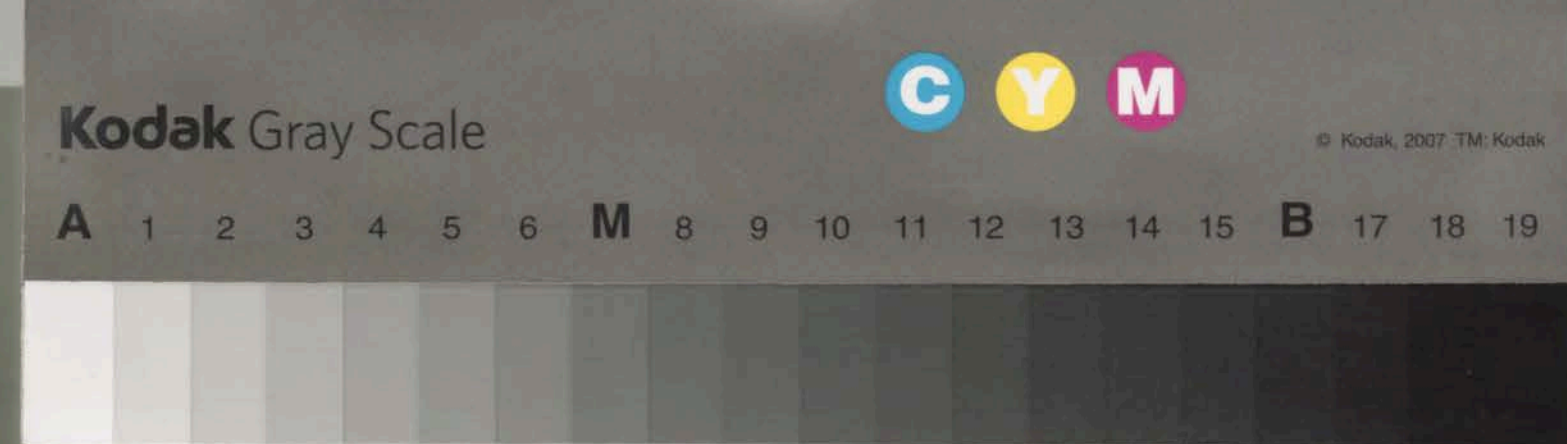


消費額ヨリ生産額ノ過  
 第十一目 本村富ノ度ノ概説富ヲ進ムル方案ノ概要  
 本村富ノ度ハ他農村ニ比シ下久我ヲ除外一般ニ有福ナレドモ就中上久我ヲ以テ第一トス村民一般ニ朴直淳良ニシテ農耕蚕業ニ従事シ諸種ノ農産物ヲ出セリ次ニ本村富ノ度ヲ進ムル方案ニツキテ述ブベシ  
 近時國運ノ勃興ニ伴フテ各種ノ事業モ亦益隆盛ヲ來タシ今ヤ歐米諸國ト共ニ世界ノ競争場裡ニ立テリ是等市場裡ニ立チテ其利ヲ争ハントスルモノハ其資本ヲ益擴大シテ大工場若クハ大商店ヲ設ケテ一地方又一國ノ製産品等ヲモ一手ニ買ヒ占メ以テ其利ヲ貪ラントスル時ニ當リ小次資本家ハ遂ニ匹敵スルコト能ハズシテ廢滅シ獨リ大資本家ノミ其利ヲ擅ニスル傾向ハ漸次地方ノ小都會ニモ波及シツ、アル時ニ際シ仲買商等ハ中間ニ立入り互ニ約シテ一手ニ買ヒ占メ或ハ買入手控等ヲシテ地方製産品ヲシテ自己ノ欲スル盡ニ其利ヲ貪ラントスル趨勢ニ傾キ居レバ本村ノ如キ製麻ノ産全國ニ冠タルモノヲ始メトシ木材薪炭其他ノ産業又ハ經濟ノ發達ヲ企圖スルタメ各種ノ産業組合ヲ組織スルハ(組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシメ「信用組合」又ハ組合員ノ生産シタルモノニ加工シ又ハ其盡賣却シ「販賣組合」或ハ組合員ノ生産シタルモノニ

合計	一三九、一五一	二二五、二〇三	二八、八〇六
第十一目 本村生産品消費過不足表			
金 額	一戸当り平均額	一人当り平均額	
三三、六三一 <sup>四</sup>	五、一八四 <sup>四</sup>	七、一八八 <sup>四</sup>	

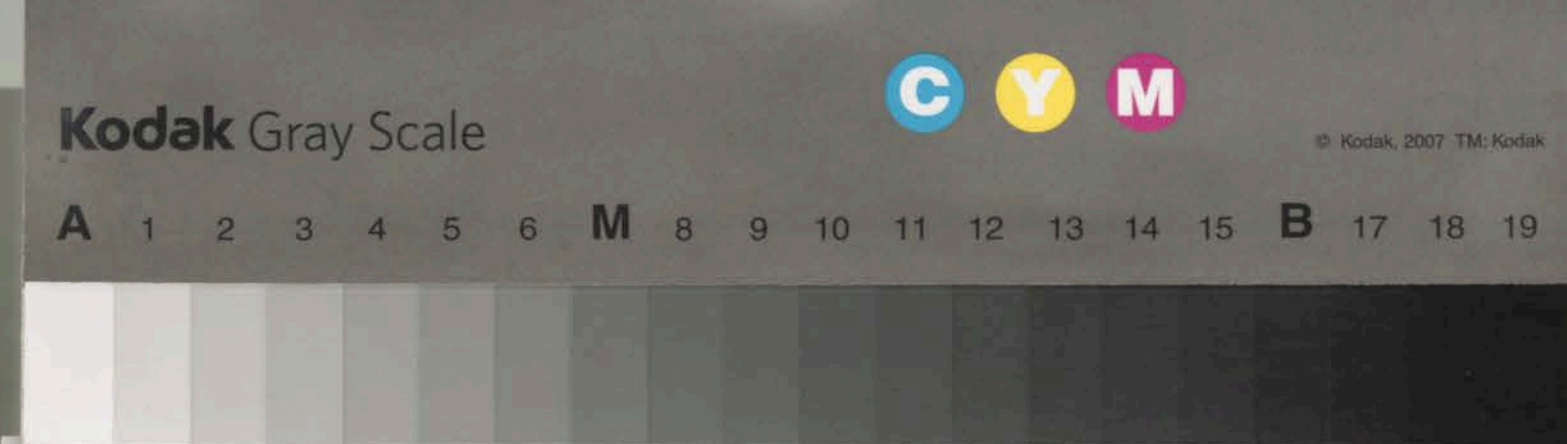






リテ其共同事業、必要ナル所以ヲ述ベシ  
 農本國トシテ、我國ノ現状ヲ見ルニ農民ノ大多數ハ小農民  
 ナルコトハ今更言ラ要セス諸テ之等多數ノ小農民ガ個々別々  
 ニ行動シツ、何時マテモアリタリトテ詮方ナシ若シ大農民  
 ナレバ自己ノ意思ヲ發表シ又自ラ其實行モ爲シ得ルナラシガ  
 資力モナク勢力ニモ乏シキ小農民ニ於テハ爲シ得ザル所ナリ  
 然レバ小農民同志ニ利害ノ共通セル点ヲ講ジテ其共同組織  
 ヲ取ルノ必要生ジ來ルナリ  
 然ルニ我國ノ農民ハ共同組織ノ下ニ一致ノ行動ヲ取ル歴史  
 經驗等ノ少ナキ結果其事業ノ善良ナルコトヲ知りツ、アリ  
 ナガラ遲々トシテ其發達困難ナリ今獨逸佛蘭西ノ如キ  
 ヲ見ルニ共同組合ノ發達今日ノ如キニ至リシマデハ同ジク  
 幾多ク永キ歴史ヲ有スルモノニシテ決シテ人爲的ニ急激ニ  
 拵ヘ得タリトテ容易ニ效果ヲ擧ゲ能ハザレバ宜シク順序  
 ヲ立テ、以テ以テ徐々ニ進行セザルベカラズ  
 我日本ニテモ短時日ノ割合ニ着々進歩シツ、アレバ決シテ悲觀  
 又ハ疑擬スルニ及ハズ然シ之ヲ放任シ置クコト能ハザルナリ  
 何レノ共同組合ノ發達シタル歴史ヲ見テモ其幹部ニ德望  
 アル人ノ献身的ニ盡カセラレシコトガ基礎トナリ一々村ニテ効  
 果ヲ擧ゲレバ他村モ亦必ズ之ニ倣ツテ進ムモノナリ故ニ主ト  
 ナル者ハ中心人物ニシテ其人物ハ強チ物識リノミニテハ不可ナ  
 リ眞ニ價值アル人ガ其村ノ爲ナラバ至誠ヲ以テ盡カセラル、  
 者ナラザレバナラヌモノナリ茲ニ於テカ農村改善ト共ニ其  
 富ヲ増進スル基礎モ確立スルナリ



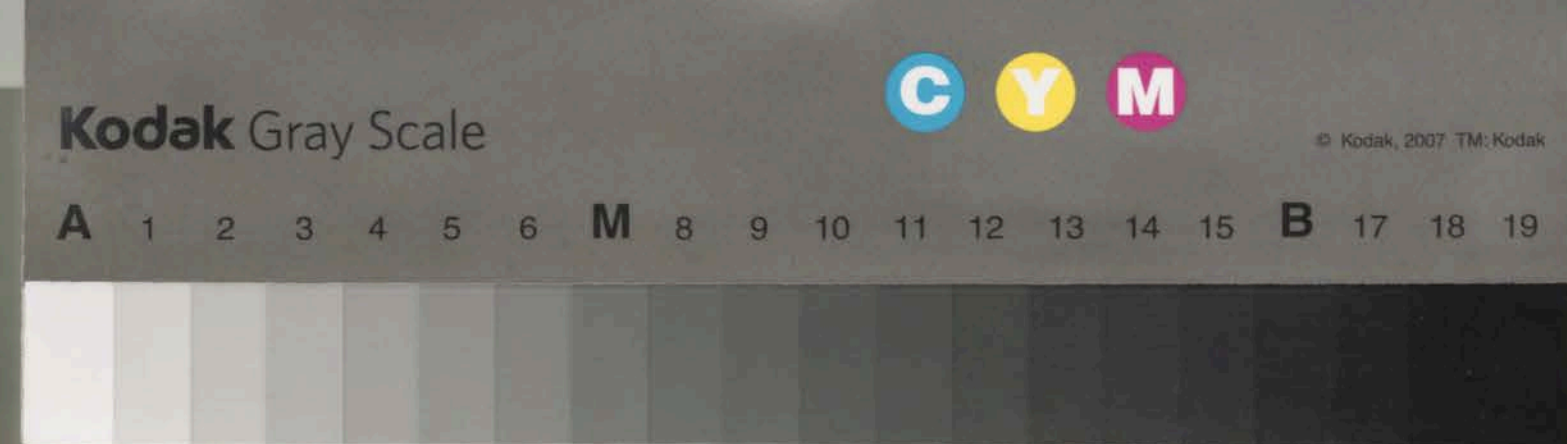


種目		金額		平均額		
種別	種別	金額	種別	金額	種別	
地租	地租	五、四九、五四	戸平均額	八、四二、八	一人平均額	一、四一、三一
所得税	所得税	一、二八、七三		一、九八一		〇、二六六
營業税	營業税	八、〇六、六六		一、二四七		〇、一六七
計	計	七、五四七、九三		一一、六五一		一、五六四
地租割	地租割	二、六一、五、六六	日	四、〇四二		〇、五四二
戸割	戸割	一、一一、四〇		一、七一八		〇、二三〇
國稅營業 稅附加	國稅營業 稅附加	一、三三、〇八		〇、二〇六		〇、〇二八
營業税	營業税	二、三〇、三〇		〇、三五六		〇、〇四八
雜種稅	雜種稅	七、三〇、三四		一、一二九		〇、一五一
樽稅	樽稅	六、〇、六三		〇、〇九四		〇、〇一三

第拾卷目 公租公課員擔額及其一戸一人當り

副業ヲ隆盛ナラシムルハ先ヅ第一ニ販路ノ方法ヲ講ジ置カザルベカラザルモノニシテ如何ニ珍重スベキ製品ナリト雖若シ販路開ケザル爲メニ生産超過ヲ來タシタリトスレバ必然收益シ得ラルベキ筈ノモノモ却テ損失ニ歸シタリトスレバ之レ實ニ農業發達ノ一大頓挫ト言ハザルベカラズ故ニ豫メ組合ヨリ販路ヲ講ジ置キ又販賣ノ方法等ハ銘名仲買人等ニ賣渡スコトナク組合ニ渡シ組合ハ全部ノ物品ヲ一括シテ需要地ニ送付スルガ如ク又注文等ヲ受クルニシテモ一枚ノ書狀ニテ用ヲ辨ズルガ如クセバ農民銘名ノ行動スルニ比シテ非常ニ手數ヲ省略シ且ツ文明的ノ方法ナラン

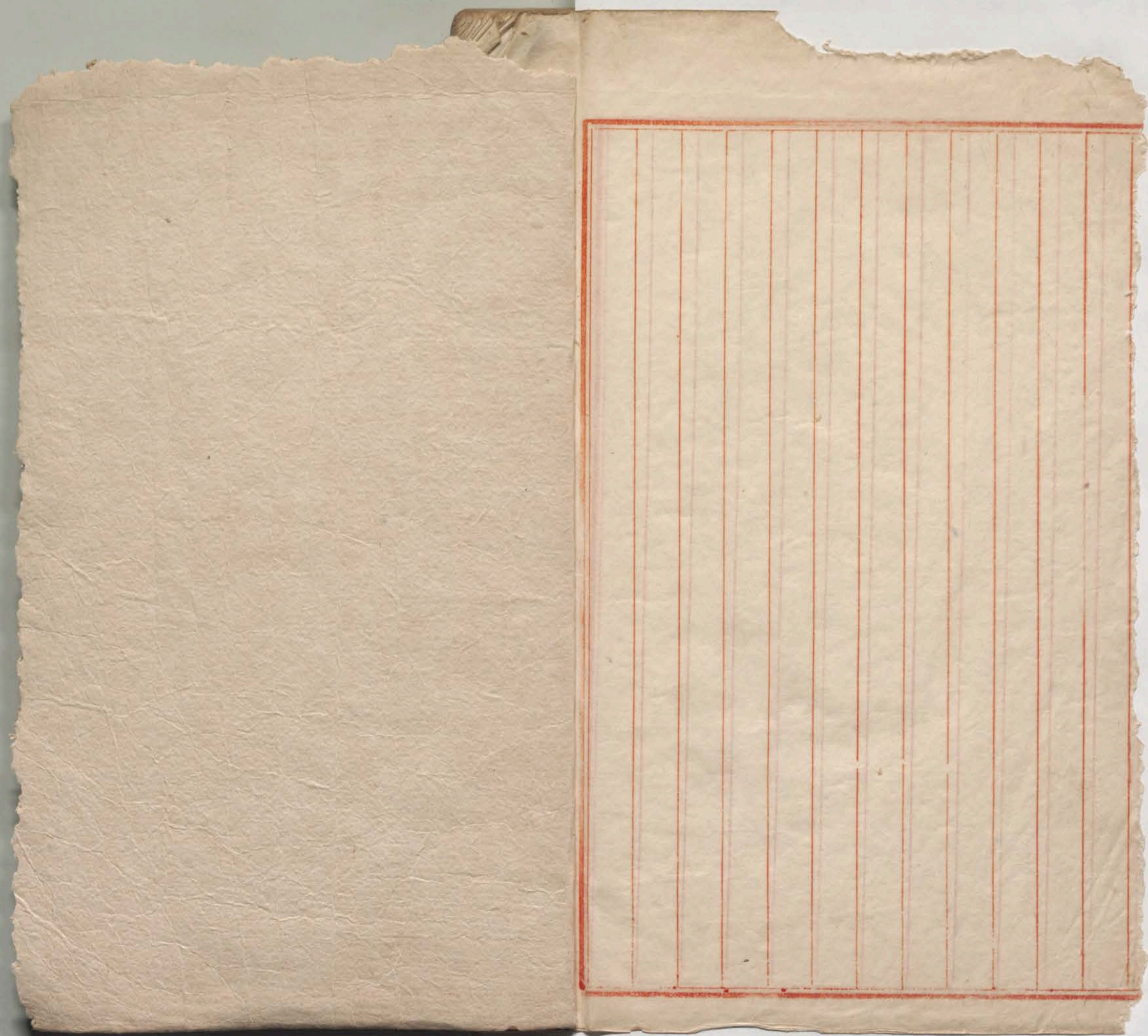
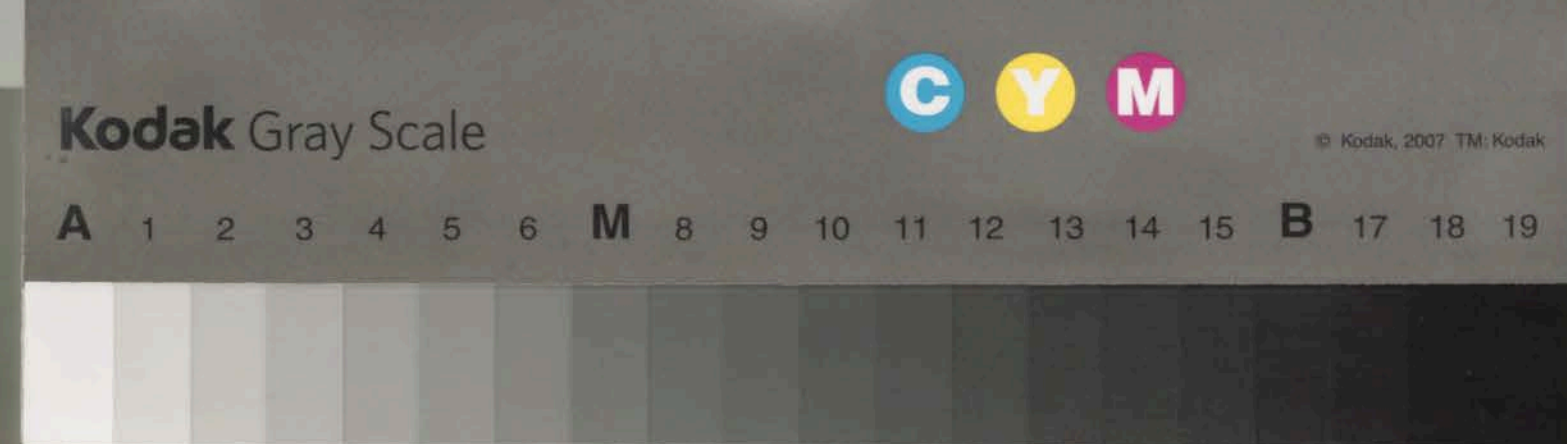




種目	種別	第十四目 基本財産				税				村
		土地	建物	株物	貨幣	雑種税割	業種税割	所得税割	戸別割	
町村基本財産	山林野	三三〇	三三〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	五、一三三、八一
小学校基本財産	山林野	三三〇	三三〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一九六、二六
其他何々		〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	七、九一九
合計		六六〇	六六〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇、〇六一

555 東部台地区晃望台 石塚栄氏収集資料

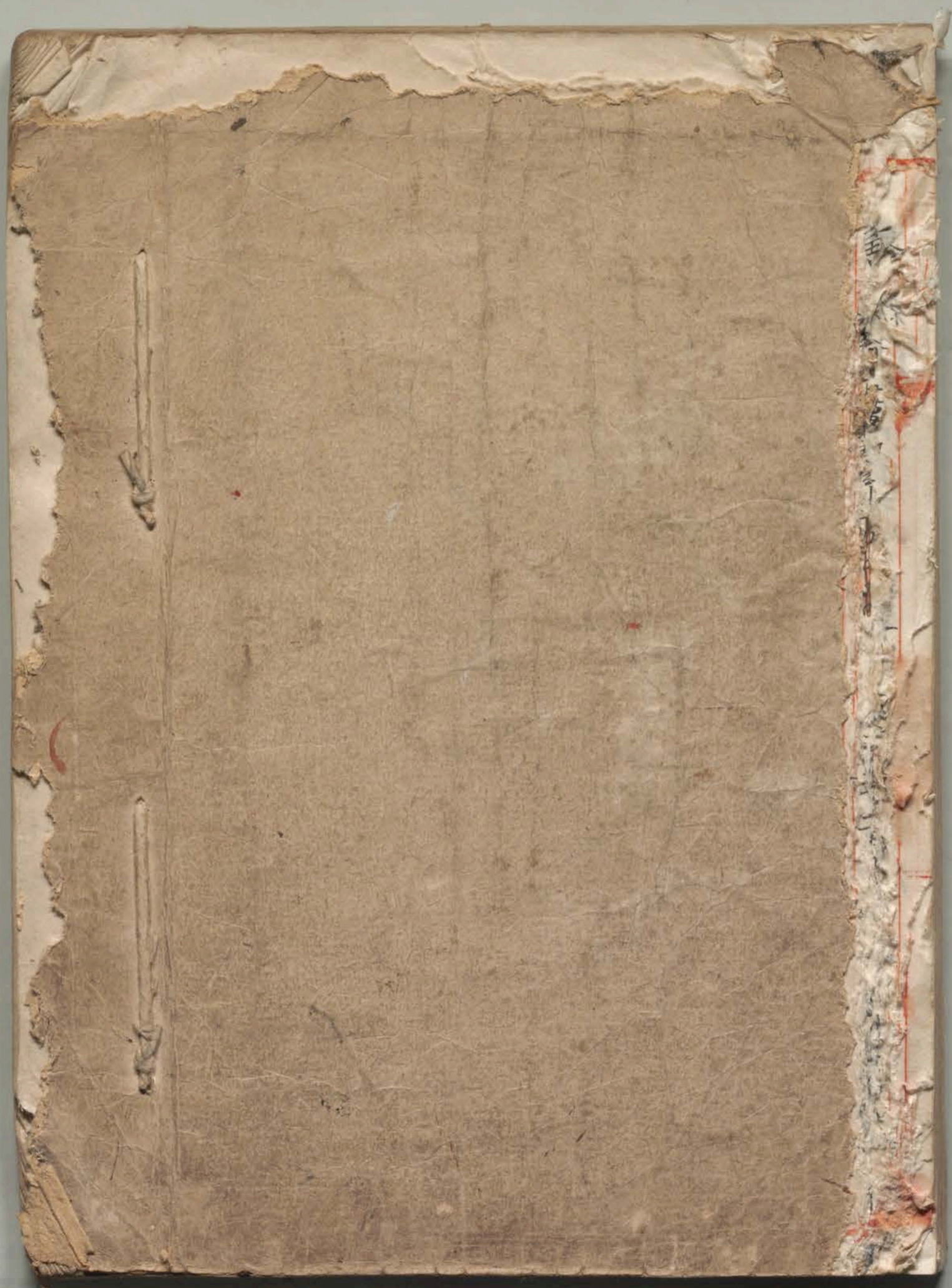
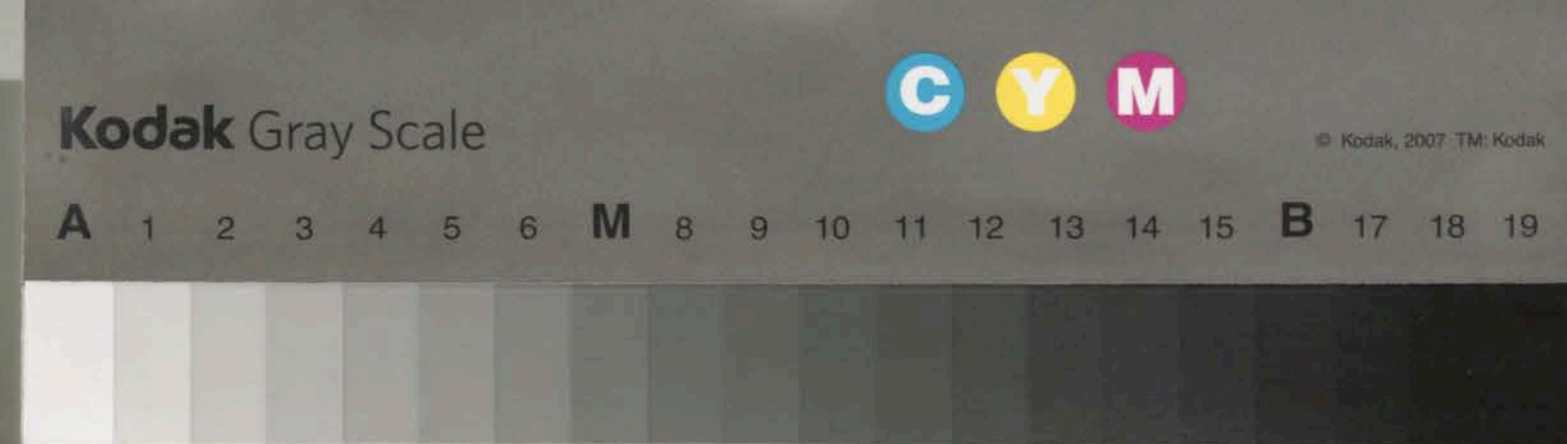




555 東部台地区晃望台 石塚栄氏収集資料

ア17





555 東部台地区晃望台 石塚栄氏収集資料

ア17

